滿洲日報
夕刊
十月十一日
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武登
大連市公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

占據地接收に關する國民政府の要求
國際聯盟事務總長より其內容を加盟國へ通達

【東京特電十一日發】國際聯盟事務總長ドラモンド氏は支那代表施肇基氏の要求に基き國民政府より聯盟に對する左の電報を聯盟加盟國全部に傳達した

聯盟事務總長は支那政府の要求で十月九日附ト記電報を通達する、支那政府は**日本軍隊撤退後各地接收委員として張作相、王樹常兩氏を任命、日本政府に現地の各陸軍司令官に占領地の引渡しを訓電すべきやう要請した、**然るに今日まで何等回答に接せず依て支那公使に左記第二次通牒を手交訓令した

九月卅日の聯盟理事會決議履行のため**十八日以來日本軍の占領せる各地方を即時支那當局に引渡すべき事を必要とす、**支那政府は十月六日日本軍の撤退における日本國民の生命財産の安全並に地方支那官憲及び警察力の再建に對する責任を持つべき誓約した、依つて十月六日日本政府に支那側接收代表の任命通告と同時に日本政府に對し、理事會に與へた誓約に依り**支那軍隊が占領地帶を接收し居住日本人の生命財産を保護すべきやう即時取極めを行ふべき事を要請した、**爾來回答に接せず且事件は極度に緊急を要するを以て本公使は以下の要求を爲すべき訓令を受けた

一、日本政府は直ちに占領各地が來週中に接收さるべきを明示すること

二、本日中に現地各陸軍司令官に對し訓令を發し接收が明日より開始されるやう手配すること

以上の通牒の寫しは各理事國に送達され同時に日々の事態の進行報告はジュネーヴ及びワシントンに打電されるであらう

聯盟理事會に對する我が芳澤代表の通牒

【ゼネバ十日發】芳澤代表は十日聯盟理事會に對し左の如く通牒した、全支の排日は遂に對日經濟絶交斷行とならんとしつゝあるので日本は支那に對し支那が排日運動を鎭壓し日本人の生命財産を充分保護し得ざる事其の損害に對しては全部支那が責任を負ふべきものなる事を通牒せり、尚同時に滿洲における日軍の行動は正當防衛なる事を支那に通牒せり

帝國の眞意を再び聲明せん
中外の諒解と支那の反省を促す
十二、三日頃決定

【東京十一日發】滿洲事變に關し支那は誇大の宣傳を以て第三國の同情を煽らんと試み第三國又實狀を解せざるため帝國政府の眞意を誤解し何等か調停的行動に出でんとして居るので帝國政府は此の際支那政府の反省を促すと共に列國の誤解を一掃するため十二、三日の閣議に諮つた上左の趣旨の聲明を中外に發表する事となつた

帝國政府は滿洲事變を遺憾とし今後日支兩國に斯くの如き不祥事件の勃發する事を絶對的に防止するため此の機に於いて日支兩國間に蟠れる日支國交上の禍根を一掃せん事を衷心希望するものである、而して帝國政府は右諸懸案の解決に當つて中國政府は日本國が明治三十八年日清滿洲善後條約以來の日支諸條約によつて中國より取得せる諸權益殊に滿蒙の地における諸既得權益の確認及び履行を求めんとするものであつて決して不當不法なる要求をあらたに中國政府に向つて提起せんとするものではなく、中國政府にして帝國政府の兩國利益の增進を企及する衷情を理解し誠意を以て帝國政府との折衝を應諾するならば一切の禍は圓滿に解決さるべきものなる事を帝國政府は確信するものである

張作相氏錦州へ
各軍を收拾せん

【北平十一日發】張作相氏は今明日中に北平發錦州に赴き關外在留東北軍の善後處置にあたり今後日本軍との衝突發生なき樣各軍收拾の任にあたるべしと

示威行列
氣勢擧らぬ
双十節の漢口

【漢口十日發】本日双十節を期し武漢抗日救國會主催の反日示威行列は武漢行營で嚴禁し又軍學校學生は禁止を命ぜられたので折柄の雨降りではあり反日氣勢更にあがらず僅かに日貨檢査隊員が横行する位で市中は靜かであつた

解決を焦慮る張學良氏の近狀
この儘では持ち耐えられまい
けふ來連の柴山顧問語る

錦州に兵を集中し一戰を交へるとか或は時局收拾不可能に總てをなげうちパリーに逃避する等々の流言渦卷く中にあつていらだゝしい日を送つてゐる張學良氏にとつて生命綱の如く思はれてゐる顧問柴山金四郎少佐は十一日早朝入港天潮丸にて赴奉の途來連した、同顧問の去就行動の裏面には一說によると學良氏より特殊の要務を秘かに托されてゐるといはれ又は斷然學良氏と手を切つて來たものと云はれ今や時局の潮流とともに頗る注目されてゐる、甲板上剌を通じると語る

廿日內地を出て北平に行つた、學良氏は今度の**事變に**對しては最初のうちこそ呆然手の下し樣もないと云ふ有樣だつたが最近になつては南支方面と連絡をとりこれが善後策に大童で順承王府で顧維鈞湯爾和、萬福麟氏等と、もに一生懸命だ、從つてゴルフや麻雀どころではないよ、今度の事變によつて學良自身の立場がよく了解された事と思ふ、それに一方南方と**連絡を**とると共に馮、閻等とも手を握らうとし從來の如き馮、閻との間の敵同志的なところが幾多緩和された樣だ、自分は別に本庄軍司令官からの招電で行くと云ふのではなく同時に學良氏から何か密令を帶びて急行するといふのでもなく奉天行は全く豫定の行動なのだ、本庄軍司令官の學良氏に對する聲明書はたしかに應えたらしい、しかし軍をまとめて**決戰を**交へるなんて事は考へられないし自分はそんな事實を知らない、とにかく學良氏が今一番困つてゐるのは約十萬近くの兵を持つてゐるがこれをどんな方法でこれから維持して行くかと云ふ事で既にもう一ケ月或ひは二ケ月より持ち支へ得まいと流言が飛つてゐる始末で學良氏は早く解決したいと焦つてゐるのもこの邊にも原因が伏在してゐると思ふ、目下平津地方は頗る**平靜て**極力彈壓を加へ反日を抑制してゐるそれ丈けにもし緩みでも出たら反動が恐ろしいと支那人の國民性を知つてゐるものは話合つてゐる、學良氏にして見れば時局收拾が思ふやうにいかなかつたら外遊の意は思ひあるやうでもし外遊するとしたらフランスだらうとは想像される、いづれにしても何とかして學良氏の手で解決策が講じたいと焦つてゐるのは事實でこの間南京政府が裏面に動きかけてゐることも否まれない、一說によると張作相にすべてを一任する樣な事を聞いたが確かなことは知らない、又滿洲の獨立政府に對しては**表面的**には案外冷靜であつた、自分は早く奉天に行かねばならぬ用事がある、無論軍部とは色々打合の必要があるが內容は今お話の限りでない、自分はまだ顧問と云ふ肩書で居る、まあ奉天に行つた上で或ひは今一度北平に歸られねばならぬ樣になるか或ひはそのまゝ奉天に滯留するか內地に歸還するか判然とはしてゐない

上陸と共に同艦にて今回奉天總領事館附を命ぜられた領事法華津孝太氏と共に午前十時半列車にて北上した【寫眞は柴山顧問】

國際聯盟の干涉を排す
在滿日本人時局後援會成り
決議文を打電す

大內市會議長、村井商工會議所會頭、岩井在鄕軍人會長、寶、大連新聞社長、松山滿洲日報社長等發起の滿洲時局に關する相談會は小澤、恩田、井上氏等の相談會と合流して市內言論會、經濟關係方面市議員、各區長、各組合長始め百二十名の市內有力者を集め十一日午前九時より市役所議事室に於て開催されたが、大內市會議長、本相談會の座長に推され、十一時まで事局に關する討議をなし、二十分間休憩、この間に發起人數氏のみの小會を開き、會名、委員等の協議をなし、十一時二十分より再會、大內座長は協議決定事項を全部にはかり、同會を「在滿日本人時局後援會」と命名し、當日出席者全部を同會委員となし、更に實行委員六十名を座長指名で決定すること、並に同會事務所を當分市役所內に置くこと等を決議した、尚濱村善吉氏の動議に依り本日集會の事業として、十三日開催の國際聯盟理事會に關し在滿邦人の總意を發表すべく、座長以下六名の委員を擧げ左の如き電文を各方面へ打電した、卽ちヂュネーブの國際聯盟事務局へ對しては

在滿日本人時局後援會は國際聯盟が時局の重大性に鑑みその原因並びに經過によりて日本の眞意を諒解し、みだりに干涉せざることを希望す

又首相始め內外陸海相、軍司令官、林總領事、關東長官、滿鐵總裁に發した電文は左の如し

在滿日本人時局後援會は滿洲時局に對する國際聯盟若しくは第三國の不當なる干涉を排除し此機會に於て滿蒙問題の根本解決を期す

常磐艦上海到着
陸戰隊上陸す

【上海十日發】南支方面の形勢惡化のため八日夜佐世保軍港より出

寫眞說明

新民屯驛に殺到した支那人避難民(下)魏縣長と藤井本社特派員(上右)

米春霖氏錦州被害報告

【北平十日發】我軍飛行機の錦州爆擊の際身を以て逃れた遼寧省政府主席代理米春霖氏は本日午後三時着平張學良氏に被害狀況一切を報告した

漢水方面の共產軍
各地に襲擊す

【漢口十日發】漢水上流に於て共產軍賀龍、段德正軍合流し其の一隊は去る七日來岳家口で第四十八師の一團を包圍中で他の一隊は天門にて新編獨立第三十旅を擊破し旅長徐德佐は戰死し團長營長ら多數戰死者を出し部隊全部共產軍の捕虜となつた、又安徽の省境英山にあつた贖繳卯の共產第六軍は西進して平漢線信陽に迫り同地は危急を告げてゐる共產軍の武漢襲擊に關する連絡最近に至り完成した

出淵大使ス氏訪問
錦州事件を說明

【ワシントン十日發】出淵大使は十日スチムソン氏を訪ひ左の如く述べて諒解を求めた

錦州事件は軍事上局部的事件と見るもので其の結果は遺憾に堪へぬが日本政府の承認した行動ではない

公利號劉珍年軍に徵發さる

十一日早朝芝罘より入港せる利通號のもたらすところによると政記公司所有公利號は十日劉珍年軍のため徵發されたが理由は不明なるも目下同船は龍口に向けしきりに手布樣のもの並に小雜を積み込んでゐるがこれにより同地の人心は甚だ不安にかられてゐる

陸相と外相が與黨首腦部招待
國論統一に就き懇談

【東京十一日發】對支問題の重大化に伴ひ政府としては國論を統一して進む事が最肝要であるので南陸相は近く與黨の首腦部を招待して軍部の意向を傳へ種々諒解を求むる事となつて居るがつゞいて幣原外相も與黨側の諒解を求むる意向であると

超黨的態度で時局問題の協議
貴族院各派の動き

【東京十一日發】國家內外重大時局に直面し貴族院各派は十日午後二時から華族會館に會合を催し研究、公、交友、火曜、同和の各派より五十餘名出席一條公を座長に推し一條、前田、東園、藤村、福原、池田、阪本、三井、勝田、水野、山岡氏らより財界對支問題等につき痛烈なる意味の意見が開陳あつたが要するに無力なる現內閣を以てしては內外重大時局に處し國策をあやまるの重大なる結果を招來する懼れありよつて貴院としては超黨派的見地より國論喚起國策をあやまらしめざる樣具體的對策を講ずべきであるとの見解に一致したので次回に井上、幣原兩相の出席を求め質問する事となり同六時散會したが今後の成行により各派有志の名において强硬な決議又は申合せをなし貴院の態度を表明する事となるであらうとして政局不安の折柄頗る注目されてゐる

正副總裁上京と經濟的對策
時局問題と關聯して重視さる

滿鐵正副總裁の上京に關して兩者の內一人は在社する方が好いとか或は又社務上差支へすやなどいふ世評もあるが、これに對し正副總裁今次の上京要務と其消息に通ぜる者は今回正副總裁が共に上京することに深甚の意義があるといつてゐる、卽ち滿鐵の任務が單なる社務とか營業とかいふことであれば頗る簡單だが所謂特殊使命が時局のために非常に重要性を加へて來たことは論を俟たぬので特に其經濟的使命に重大なる任務が懸はつてゐる、此事に就ては曩に副總裁は滿線出張の時に又總裁は上京の途次奉天へ二泊したことに依りて事變後の一般の情勢に對して軍部は勿論外交關係方面とも十分に諒解を遂げてゐるので要するに國策上中央要路と遺算なき協議を行ふ必要があり外交問題と經濟案件とが聯關してゐるので推てこそ同行上京に決した譯であると、而して當面の經濟問題から進んで直に發生すべき經濟對策に就ては頗る緊要の案件があるので外交と經濟との交錯狀態は既往の懸案と現在及び將來の對策上此際基幹的審議を加へればならぬ急務がある、夫れには是非共副總裁の上京に依りて實情に基き實際に卽したる方策を詮議する急要を生じたのは言ふ迄もない、故に正副總裁今次の上京は勿論社務上の案件もあり豫算の如きも重要ではあるが更に一步を進めて時局に對する國策上の根本意識が動いてゐることを知るべく十河、首藤兩理事等が奉天への往復頻々たるに見るも滿鐵の對時局方策は出先官憲との協調を以て善處しつゝある意圖を窺知し得べく同時に正副總裁の上京は其基幹的國策に就て重大なる任務を帶びてゐるので成るべく歸任を急ぎ其實行に移る手筈であるといふ

內相與黨四氏と協議

【東京十一日發】對支問題に關し安達內相、賴母木、永井、中野、山道の五氏は十日午後內相官邸にて協議の結果與黨としては問題解決に强硬態度を執ることには意見一致したるも與黨の立場として聲明を出すことは暫く見合せることゝなつた尚二十日過ぎ閣僚と幹部との懇談會を開き對支問題その他につき協議することゝなつた

內田總裁京城を出發

【京城特電十一日發】十日入城の內田滿鐵總裁は十一日午前十時京城驛發東上の途についた

人事

▲柴山金四郎氏(張學良氏顧問)十一日入港天潮丸にて來連
▲小柳司氣太氏(文學博士)同上
▲法華津孝太氏(奉天領事)同上
▲小川敬次郎氏(北海道帝大教授)十一日入港はるびん丸にて來連
▲大島精高氏 同上
▲大岼正氏(滿鐵旅館事務所長)同上
▲荒木東一郎氏(滿鐵囑託)同上
▲赤澤塚三氏(奉天醫大教授)同上
▲籾倉作助氏(上海支那海關吏)同上
▲吉益匡賢氏(日本柑橘中華民國輸出組合理事長)同上
▲防野幾之助氏(同理事)同上
▲高橋条一氏(同技師)同上

蛇角

中耳炎の宇垣總督と內田總裁とが意見の交換をした、勿論意見は一致、兩方とも不一致の箇所は耳にせなかつた。

◇

日本の要求は極めて平凡な只二ツの事だけ、今更各國にお斷りする程のこともあるまいに。

◇

時節柄鑑みて遠慮するといふ尊德式經濟と郵便貯金は、益々世の中を不景氣にする、釣もよし、運動もよし、何でもかんでもやるべし、やるべし。

◇

蔣介石氏が下野から上野へ寢返る、上、下する度に財閥からの軋金でふさる。

馮庸氏來連す
夫人と共に滯在

奉天馮庸大學校長馮庸氏(三二)は過般の日支事變後我が軍のため去る廿二日より本月三日まで奉天附屬地鮑貴卿邸宅に監視中の身であつたが日本側の運動關係者その他の諒解運動によつて漸く釋放されたので同氏は六日午前八時着列車にて同校教授部絡宗(三)同庶務係員江樂山(二七)の兩名を伴つて秘そかに來連し目下星ケ浦ヤマトホテルに滯在中であるが同氏夫人も十一日入港の天潮丸で來連したので當分時局安定まで歸奉しないと

府縣議の分野

【東京十一日發】全府縣會議員當選者十日迄の各派別左の如し

派	數	派	數
民政	七五九	同系	一八
政友	六〇六	同系	一六
社民	三	地方無產	三
全勢大	一二	同系	一
中立其他	四〇	計	一、四四八

東亞の謎(17)

國枝史郎
挿畫 伊藤順三

沙漠の古城(一)

小夜子の眺めてゐる沙漠の景色は、全く特異のものであつた。

和林からは日本里に直して、二十里を隔てた地點であつて、一般の地圖には現れてゐない、さういふ地域の一所であつた。

蒙古青年國民黨の根據地、周圍二里はたつぷりとある、城廓が此處に出來てゐる。

その城の望樓の頂きに立つて、小夜子は眺めてゐるのであつて、その望樓は本丸にあつた。

で、彼女に見えるものといへば二つばかりの隅櫓と、嚴しく巡らされた城壁と、楡の木や楢の木や楊の木などに、蔽はれながら隱見して見える、石の階段や諸種の建物——卽ち、兵舍や糧秣倉や、武器倉や砲臺や刎橋などであつた。濠の水も見えてゐた。

しかし城壁の彼方にあるのは、夕日に赤く染まつてゐる、茫漠とした戈壁の沙漠で、しかも沙漠は大濤のやうに、城壁の彼方に盛上がつてゐて、此方に向いてゐる斜面全體は、夕日に反いて陰影をなし、頂ばかりが輝いてゐた。

城壁の內側の練兵場で、國民軍の兵士達が一小隊ほど調練してゐた。

その擔つてゐる小銃の口が、時々夕陽にキラキラ光つた。

馬の嘶く聲が厩舍の方から聞えた。

さういふ景色を眺めながら、小夜子はうつとりと考へてゐた。伯爵のことを思つてゐるのであつた。

離れて逢へない今になつて、彼女は自分が何時の間にか、非常に强く松下伯爵を、戀してゐることを發見した。

一緒にゐた頃はその戀情は、ではないやうに思つてゐた。尊敬であり信頼である。そんなやうに思つてゐた。

が、さうでは無かつたのである。さういふ感情を含んだ上の、それは烈しい戀であつた。

併し彼女は今も思つてゐた。

先方は伯爵であり富豪であり、世界的の名士であるのに、自分は可哀さうなダンサーで、それも全身に刺青された、謂はゞ不具のやうな女である。その自分が伯爵を戀するなど、到底ゆるされることではないと。

(でも妾はあのお方が戀しい!)

彼女の心は然うなのであつた。

何と伯爵が自分に對し、親切で優しく憐れんでくれて、尊敬さへもしてくれたことか!

それを思ふと淚が流れた。

阿片常習や過激な勞働(ダンスは過激な勞働といへる)さういふものから來たところの、身體の病氣もう一つ、武村などから迫害されて、恐怖症になつてゐた心の病氣、さういふもの癒さなければ不可ない、かう云つて伯は小夜子その人を、醫者にかけたり入院させやうとした。入院を嫌つたところから、人をつけて醫者へ通はせた。

ダンサーには一種舞蹈病めいたさういふ徵候があるもので、每日ホールで踊らないことには、却て心身が衰へる。で、伯爵は希望通り——小夜子が希望する通りに、フロリダへ出してダンスをさせ、自分でも每晩やつて來て、微笑ましく眺めながら踊つたりした。

「お屋敷へなど這入るの厭!」かう彼女が我儘をいふので、望むまゝ乃木坂アパートに住せ、時々伯が來て話し込んだ。

さうした伯の親切が、今、小夜子に思ひ出された。

新築中の羽衣女學校崩壞 卅數名が壓死、生埋め

驅つけた家族連で凄慘を極むる現場

けふ大連未曾有の大慘事

十一日午前十一時四十分市内伏見臺工專前に今井組の手で新築中の大連語學校羽衣女學校(岡内半藏氏經營)の大建築物が俄然大音響と共に崩壞し二三階で作業中の苦力約二十數名は煉瓦の崩落と諸共に土煙に卷かれて無殘生埋めとなり地上で作業中の苦力約十名は全く壓死するの大連未曾有の慘事が惹起した現場には所轄三浦小崗子署長以下急行、市中の苦力を狩り集めて生埋め苦力の救出に努めてゐるが何分崩壞した煉瓦、土塊、セメント等が山をなし救助意の如くならず**午後一時までに僅か十一名を救出したがうち二名は壓死、九名は重傷**で未だ埋沒中の約二十名の安否を氣遣はれてゐる、現場に驅けつけた家族達の泣き叫ぶ聲に凄慘の極みを呈してゐる

さながら生地獄

壓死者十數名に達せん

崩壞を免れた校舍二棟も危險

崩壞現場は目も當てられぬ凄慘を呈し、小崗子署員、消防隊及び市内から狩り集めた苦力の手で生埋となつた苦力の救助に努めてゐるが掘返された土瓦の中から斷末魔の唸きを發する者、鮮血に染まつた手を上げて助けを求むる者、二目と見られぬ悲慘な姿となつて引揚げられるもの泣き叫びつゝ同輩の死體を掘り出してゐる苦力等さながらこの世の生地獄を現出してゐる、救出された重傷者は取敢ず現場に出張の赤十字醫員及び看護婦の手でカンフル注射その他應急手當が加へられ、消防赤自動車で、赤十字病院に收容中である、急を聞いて驅つけた家族達は、我子の變り果た痛々しい姿、夫の安否を氣遣ふて只泣き叫びつゝ右往、左往するのみ、午後一時までに死者二名、重傷者九名の救出を見たが**壓死者はおそらく十餘名に達するものと見られてゐる**なほ崩壞を脫れ殘骸の如くそびえ立つてゐる校舍二棟も工事不完全からか、弓なりに曲り、顚ろ危險な狀態にあるので丸太で支へるなど應急措置が講ぜられたが、いつ崩壞するとも計られない危險狀態で第二の不祥事を氣遣はれてゐるなほ生埋になつたもののうちに二、三名の日本人もある模樣である

慘澹たる羽衣女學校崩壞の現場 (下)×印のところに苦力多數生埋めとなる

煉瓦積に欠陷か

設計監督の宗像氏談

同校の設計監督者である宗像氏は語る

私も崩壞後現場よりの急報で今驅けつけたばかりで崩壞當時現場に居合はさなかつたため何處から崩壞しかけたかは見て居らないので原因については今のところハッキリ判りませんがこの工事は起工が七月十日、竣工は十一月十五日まで、アト二十日位の餘裕があればよかつたのですがあまり工事を取り急いだので多少無理をしたため下部の方の煉瓦積みに缺陷があつたのだらうと思ひます、何れ再檢査した上でないと確かなことは申しあげられません

不正が潜むか

大々的檢證行はる

慘事發生と同時に池内檢察官、三浦小崗子署長、石井大連署長以下建築技術者立會の下に大々的檢證が行はれてゐるが、崩壞個所は同建築物の東南校舍(教員室、教室事務室)二棟二百坪、崩壞原因に就き專門家の觀測では積煉瓦のセメント及び壁土が乾燥してゐないのに地下設計にゆるみを生じ屋上の重量に耐えず俄然崩壞したものと見られてゐるが、司法當局では同建築は今井組の手で第一期工事六萬圓で七月八日着工、驚異的で十一月十五日までに竣工の豫定であつた爲め今井組では晝夜兼行工事を急いだもので工事監督上不行屆きの點尠からぬものと見てゐる殊に崩壞せる煉瓦に附着せるセメントを點檢するに少しも粘着力なく砂の如くボロボロと落ちる原料を使用してゐる事實あり、不正工事の譏りは免れぬ模樣で、結局刑事々件として司法當局の活動となるべく見られてゐるが、工事責任者今井行平氏は目下奉天に旅行中であるので同氏の歸連を待ち工事監督者春山福二、土木技術者青木甫剛氏等と共に取調べることゝなつた

崩壞の第一原因

工事を急いだ點にある

小黑土建協會常務理事の話

羽衣高女校舍崩壞の現場を視察中の土建協會常務理事小黑隆太郎氏は語る

崩壞の第一原因は工事を急いだ點にあると思はれます、成る壁厚も薄しモルタルも少なくセメントもすつかり密着してゐない樣ですがこれはこの建築にはこれ位といふ設計によつて造られてゐるわけで今度のやうに工事を無理をしても急がなければならぬ場合はこれらの材料をそれぞれ適宜に配して造ればよいのでその邊のことは工事監督の指揮に從つて工事請負業者が適宜にやらなければならぬのですが若し材料が少なくそれが爲に崩壞したとすれば少なくとも壁に龜裂が入つてゐなくてはなりませんがそれがありません、この點から觀察して崩壞原因は矢張モルタルが乾かずセメントがすつかり固く丈夫になつてゐないうちに無理をして上へ上へと上層建築を急いだ關係だと云へませう、セメントやモルタルの使用量が使用書通りになつてゐなかつたとすれば請負者側の不正と云はれますがこれは設計監督者の方で適當に請負人側のサバを讀むことを豫期して加算する習慣ですからこの點については後程皆が立會ひの上で材料を檢査して見て果して不正があつたかどうだかを決定しなくてはなりません

魚行商の自殺

市内嘯明街三五番地魚行商人劉德方(三七)は十日午後三時阿片を嚥下自殺を遂げた、同人は魚を行商してコツコツ蓄へた小洋錢約五十圓を惡友に誘はれて賭博に費消し悲觀の結果らしい

十一月下旬には開校の筈だつた

弱り目に祟り目です

―岡内校長は語る

急報によつて現場に驅つけた同校々長岡内半藏氏は學校理事者古澤治八氏その他森本地方法院長等同校後援者と早速善後策を講ずると共に續々押しかけて來る見舞客に取りまかれながら語る

火災に引き續く校舍崩壞で全くの御難續き、弱り目に祟り目です、先日漸く上棟式を行つたばかりで十一月十五日には工事竣工のうへ下旬には現在授業中の燒跡バラックより移轉すべく準備中であつたのがこの騷ぎで移轉も當分出來なくなりました、何れ建物も未だ今井組の方にあつて私の方には關係なく原因等については土建協會その他專門家によつて調査せられることでせう

未だ耳に殘る斷末魔の悲鳴

目擊者黑木君の話

校舍倒壞の際現場を通りかゝつた便達社使用人黑木君は語る

恰度自動車を運轉して工事前の道路に差しかゝつた時でした、突然建築中の羽衣女學校の中央校舍の三階でバリ、バリバリと爆發するやうな音響がしたかと思ふと三階建の煉瓦が一せいに崩れはじめ一部は地鳴りと共に地上に落ち、大部分は地下室へメリ込んでしまひましたがそれと間髮を容れず地下室から數十人の鋭どい悲鳴と斷末魔の叫び聲が聞えました、崩れた建物からは飴ン棒のやうにヒン曲つた鐵筋やそれにブラ下つてあぶなく落ちかゝつてゐるコンクリートの大きな塊が慘憺たる姿をなしてゐました、僕は咄嗟の間に紅葉町の交番へ車を飛ばして急を告げたのですが地下室でうめいてゐる斷末魔の悲鳴がマダ耳の底にこびりついてゐて離れません

古强者勇躍

實滿對抗の硬球試合

好天氣に盛況

本社主催、本社々長盃爭覇の大連實業對大連滿鐵のヴエテラン對抗硬球試合は十一日午前九時三十分より彌生町三井物産コートに於て擧行、この一絶好のテニス日和で兩軍古强者孰れも目指して必死の戰ひに觀衆は終始手に汗を握る飯河(市)對隱岐(滿)川野(三井)對田中(滿)小笠原(國際)對三浦(滿)渡邊(三井)對阿部(滿)等いづれもセットオールで接戰を續けたがシングルでは四對一で滿鐵軍優勢を示し午後よりダブルスを開始することゝなつた

實業 滿鐵

シングルス

吉富(國際) 6—1 6—4 江夏(消費)

江夏日頃確實なフオアーストロークは少しも當りを見せざるに反し吉富はチヨツプを用ひ確實なるフオーアーとバツクハンドストロークを用ひて樂なゲームをなしたり蓋し吉富の一人試合の感あり

金原(三井) 2—6 1—6 木暮(ホテル)

川野(三井) 2—6 6—4 4—6 田中(鐵道部)

川野は確實なフオーアーハンドストロークを用ひて田中のフオーアーを攻めした田中得意のバツクハンドストロークを用ひてサイドコーナーを攻撃第一セツトは樂にゲームを得しも第二セツトは田中のミス多く川野は第一セツとは別の作戰により待球主義を以つてゲームを得第三セツトは田中又作戰を變へて自重し一歩一歩ポイントを得最後に得意のバツクハンドストロークを以つてサイドコーナーを突き止めを刺す

飯河(市中) 2—6 7—5 1—6 隱岐(消費)

第一セツト隱岐のサーブに始り得意のフオードライブを以て難なくフオストセツトをリード第二セツト後老將飯河作戰を變更し隱岐のフオアーバツクを巧みにショツトしたるも隱岐も亦之れに對戰し相方互に一ゲーム宛をリードし最後の第二ゲームは飯河の頑張りに依り粘り勝ち第三セツト第二回目のゲームを飯河奪ひたるも隱岐は最初より壓迫を續け5—1とリードせる時平常よりマツチポイント强き飯河頑張り一ゲームを挽回し6—2で終る

小笠原(國際) 3—6 8—9 1—6 三浦(商事部)

小笠原のループドライブに三浦のフオアーさつぱり當りを見せず最初の三ゲームをリードされたるも漸次三浦當り初め一セツトを得、續く二セツトは互に押しつ押されつシーソーゲームを續け遂にセツトオール、氣分を一變した三浦は小笠原のループを巧みに打ちこなし滿鐵ポイントす

渡邊(三井) 6—3 5—7 1—6 阿部(鐵道部)

阿部練習不足の結果當りを見せず渡邊容易に一セツトを得二セツト目渡邊4—1とリード後阿部漸く當りを見せ5—5に漕ぎ付け遂に7—5の接戰で二セツト目を終り後阿部、フオワーハンド、ストロークさへ6—1で三セツト目を得て勝つ

最初から打擊振ひ カ軍雪辱成る 4-2

世界野球選手權の最後戰

ア軍の力鬪も空し

【東京特電十一日發】スポーツマンスパーク球場十日發電によれば本年度世界野球選手權の歸趨を決すべき十日の決勝戰に引續き當スポーツマンスパークでアスレチツクス先攻にて開始された、この一戰こそア軍三年連勝の雪辱成るかカーヂナルス軍二年連敗を雪辱するかといふ大事な試合のことゝてア軍はアーンショーを、カ軍はグライムスをプレートに起てゝ兩軍死力を盡し戰つたがカ軍は最初よりアーンショーの球を打ち遂に四對二でカ軍は二年連敗の雪辱を遂げた、斯くてア軍の三年連勝の望みは水泡に歸した譯である

	得點	安打	過失
カ軍	四	五	〇
ア軍	二	七	一

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
ア軍	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
カ軍	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4

天氣豫報

南西の風晴一時曇 (十二日)

各地溫度

	十一日午後十一時	十一日最高
大連	一三・〇	一二・六
旅順	一五・六	一三・九
營口	一三・三	一二・九
奉天	一二・五	一一・五
長春	一三・三	一二・六

暗流阿修羅館 (212)

生田蝶介
挿畫　藤井耕達

月夜の夢（四）

六疊の部屋、四方がぴつちり閉め切つてある。

そこに二人の女が對ひ合つて坐つてゐる。二人共同年輩である。が、一人の女は紫の布で目隱しがしてある。一人の女は目隱しはしてない。二人共非常な美人である。

目隱しされてゐる女は、ついさつきまで泣いてゐた。身も世もあらず泣いてゐた。

が、そこへもう一人の女が出ていろ〳〵となだめて、やつと落着いたのであつた。

「ちつとも怖いことはないのです。あの人はそれはそれは優しいのです」

目隱しの女は泣きやんではゐたが、それでも、まだ、時々肩をふるはしてゐた。

「それでは、何故、こゝに連れて來たのだらうとお思ひでせうが、たゞ伺ひたいことがあつたのでと云つたまゝ目隱しの女は、しばらく默つてしまつた。

「深いわけがおありの御容子ですが……」

「………」

「決して他言いたしません、また、あなたで、果しかれるのでしたら、及ばずながら、私なり、あの人なりがお力になつてあげませう。さきほどの誓ひごとの通り、何もかも隱すところなく打あけて下さい」

「こればかりは………」

「それでは、私が、あなたに代つて申して見ませうか」

「………」

目隱しの女は、目隱しの下から對手の女の容子を見つめてゐるかのやうに、ぢつと顏をあげた。布の下の頰は蒼ざめて見えた。

「田沼の殿は、一も二もなく、あなたの美しさに迷ひこんで、あなたを無理矢理に連れて來たのでせう。あなたは、地獄に墮ちるよりも辛かつた。田沼に隨ふ位なら、いつそいつそ死んでしまひたい、と、一度は死を覺悟なすつたのでせう」

「………」

目隱しの女の頰は、ます〳〵蒼ざめて來た。そして、その頰はピクピクと痙攣さへ見せてゐた。

「が、いま死んでは、たゞ犬死になる………」

一方の女は話しつゞけた。

「生きてゐて、死んでしまつたつもりで、生きてゐて、死んだ氣になつて、身をすてゝかゝつて、それから………と考へ直したのでせう」

「………」

「あの家では、おきゝすることが出來なかつたので、あの人が、こゝにお連れしたのです。別に危害を加へることはしないのです。たゞ聞くだけ聞いたら無事におくりかへしてあげます。安心して下さい」

「何がきゝたいのでございます」

目隱しの女は、はじめて物を云つた。

「これからきゝますから、どうぞ何もかも本當のことを云つて下さい。少しでもうそがあるとおかへしすることが出來なくなりますから」

「私の知つてゐることなれば、何もかも申しあげます」

「それでは、おきゝしますが、あなたは何時から田沼の殿樣のおそばにおつかへになつたのです」

「一昨年の冬のはじめからです」

「どういふところから、殿樣に見出されたのです」

「佐野治郎左衛門殿の悪女の妹でございます」

「すると、あなたから見ると、田沼の殿は、敵に當るのではありませんか」

「はい」

好評盛況で更に二日間日延

來る十四日まで上映
「嗚呼中村大尉」映畫會

本社主催の大日活に於ける滿洲事變映畫「嗚呼中村大尉」はいよいよ好評を博し初日以來滿員の盛況を呈しつゝあるが、昨十日の土曜日夜間の如きは午後七時早くも木戸止めの大盛況で、入場をお斷りした氣の毒な來會者も相當あつたから、今日　日は滿員にならぬうちなるべく早く來場されたい、なほ會期は最初八日から來る十二日まで五日間の豫定であつたが、大入滿員つゞきで到底豫定の日數では收容し切れぬので更に十三、四日と二日間會期を延期することに決定した

掏摸の家（市川右太衛門主演、十二日から帝國館上映）

滿洲日報

發行人 鈴木 昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武彦
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢　郵稅 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

錦州の我軍行動は國際法上適法だ

わが陸軍當局の說明

【東京特電十一日發】錦州事件に關し陸軍當局は全く自衛上の應戰なりとして我軍の行動は國際法上適法にして正當の處置を執れるものなりとし左の如く說明してゐる

一、今回の事變は素より戰爭に非らざるも滿洲の治安を紊し我軍に敵對行爲を爲すものは交戰法規と見做す

二、一九二二年華府會議の六國委員は交戰法規を作成したが、右は未だ各國の採用するに至らずと雖も此際有力なる參考資料とする事が出來る

これによつても我が爆擊機の爆彈投下は支那軍の射擊に對する適法なる自衛的行爲として當然の處置である

江支那參事官 亞細亞局長訪問

【東京十一日發】支那公使館の江參事官は十一日午前外務省に谷亞細亞局長を訪ひ錦州事件につき交涉した

支那の第二次要求 一蹴のほかなし

わが外務當局の談

【東京十一日發】ジュネーヴ來電支那の第二次通牒を執りつゝありとの報道につき外務當局は語る

蔣公使が最後通牒的要求を提出すべしとの報道は初耳だ、外務省には何等それにつき公電なきも支那がかゝる態度に出る事は想像に難くない、たとひ支那が如何なる要求を提示し來たるとも我軍の卽時撤退は不可能であり、さる要求あらばこれを一蹴し去る外ない

顧維鈞氏 南京へ

學良氏の命で

【北平十一日發】顧維鈞氏は十一日午前八時飛行機で再び南京へ向つた、氏は張氏の命を受けて蔣氏に錦州事件を報告し張氏の苦衷を述べて日支單獨交涉開始の止むなきを述べて承認を求める模樣である

正々堂々たる我軍の行動

國際公法に明るい 大島高精氏來る

今回の事變に對し我軍司令部においてはその善後處置につき列國環視のうちにあるので今後の行動に對し愼重な態度で進むは勿論であるがこれが具體的の方策として各方面夫々の權威者を軍司令部顧問と云ふ形で招聘する事になつたが十一日入港はるびん丸にて國際公法に對し明るく陸軍省とは切つても切れない關係にある大島高精氏が軍よりの依頼によつて赴奉の途來連したが甲板上語る

今度の事變に對し我軍のとつた行動は實に正々堂々たるものであるが國際聯盟なんてものや列國はとかくこれを色眼鏡で見たがるものだからどうしてもこれを突つかれたとき堂々の云ひ開きをすると共に說破する必要があるのでそんな事の必要から頼まれて國際公法につき意見を述べに來たそして滿蒙における我特殊權益と云ふものを大いに强調する必要があると思ふ、一日滯泊してすぐ赴奉、本庄軍司令官に面會し出來れば廿二日の船で歸京の豫定で居る【寫眞は大島氏】

視聽を集むる十三日の理事會

加盟國出席者の顏觸れ

【ジュネーヴ十日發】國際聯盟事務局は來る十三日日支問題に關して開催せらるる聯盟理事會に關しフランス外相ブリアン、イギリス外相レヂング卿、スペイン外相にして理事會議長たるレルー、伊國外相グランジ、ポーランド外相ザレスキーの五氏から出席すべしとの通知を受けた尚ドイツ首相兼外相ブリューニング博士からは出席出來るかもわからないと通牒して來た尚會議は火曜日（十三日）に開會して十四日に休會し引續き各國代表と日本代表芳澤謙吉支那代表施肇基の諸氏との間に非公式に問題解決の基礎について討議する機會を與へる事とし結局會議は來週末迄續くものと期待せられて居る尚紛爭解決の手段として聯盟當局側の意見によれば聯盟諸國は戰爭發生防止のいよく最後の手段としての外は日支兩國中の何れに對してなりとも經濟封鎖のごとき手段に出づることは好まざる處であると言ふて居る

滿洲事變防止出來ねば軍縮會議は無意味

聯盟側、理事會に注目

【ジュネーヴ十日發】十三日再開の理事會に關し聯盟側では同理事會が日支紛爭を防止し得ざれば結局明年二月開催の軍縮會議の召集は無意味となるべしとの意見を持して居る、卽ち日支紛爭は聯盟參加國間の戰爭防止に關する聯盟の能力に對するよき試金石で、若し聯盟がこれに失敗せば聯盟の力により各國の安全を共同保障せんとする佛の主張も遂に無效となり、各國はその安全保障のためそれぞれ國防充實を圖る要ある事を聯盟が認めざるを得ない結果に逢着するものとして重視して居る

永井次官ら 聲明書發表打合

【東京十一日發】永井外務次官は十一日川崎翰長を訪ひ錦州事件に關する聲明書發表につき打合せた

幣原外相 首相訪問

錦州事件打合

【東京十一日發】幣原外相は十一日午前九時若槻首相を訪ひ錦州事件對聯盟聲明につき打合せた

果して成功するか 滿洲獨立運動

風雲に乘ずる人々の橫顏……（下の二）

奉天にて 前田特派員

熙洽氏

今次の事變に因る東北舊政權の解消後一番早く獨立政權を樹てたのは吉林の熙洽氏である、廿一日わが第二師團吉林占領前後彼の善處振はまことに鮮かなものであつた、吉林邊防司令長官公署主席張作相氏は事變前から錦州に歸省してゐたので熙氏は張氏を代理して軍政兩方面の中心となり事變勃發後省內の動搖を抑へてわが軍との折衝に巧妙な外交手腕を示し省軍の一部分の武裝を解除してわが軍に恭順の意を表し他の大部隊は彼の意圖に出でざるにせよ無事奧地に退散せしめて省城の安定を得るや直に省政府の改組を斷行して自ら長官となり表面的には張作相氏の舊政權と絕緣した獨立政府の樹立に成功した、而も此の間一發の銃聲を聞かなかつたのである、これといふのはわが軍に反抗の氣勢を示した有力部隊がわが軍の威力に恐れて奧地に遁走したあとに少數乍ら彼自身の手兵を以て省城の治安を維持し得たゝめであつて此點は奉天の袁金鎧氏と違つて武力を持つ者の强味である

熙氏は奉天の人で滿洲旗人であるといふだけで彼の思想がどんなものであるかは容易に推知出來る、昨今の復辟派の滿蒙帝國建設策謀には熙氏は有力なる對象となつてゐることであらう、彼は日本士官學校第八期騎兵科の卒業生で歸國後黑龍江督軍朱慶瀾氏の幕僚となり後奉天や熱河を轉々して大正十三年張作相氏が吉林督辦となるやその參謀長に拔擢されて今日に及んだものである

熙氏の新省政府は今のところ大體安定してゐる、彼の威令が全省に及んでゐるか否かは甚だ疑問であるが反對勢力があつても今は鳴を潛めてゐる、しかし彼の實力といふのは僅に八百の衞兵のみであつてその後相當擴充を謀つてはゐやうが彼として第一に採るべき途は今のうちに雄厚な武力を形成し日本軍撤退後も動かざる基礎を造ることであらう

張景惠氏

ハルビンの張景惠氏が獨立を宣布したといふ說は事變直後盛んに傳へられたが正式に張學良氏と絕緣して新政權を組織した譯ではない、從來通り東省特別區行政長官として管內を引締めて形勢の推移に善處してゐるといふだけである、尤も東北政權が解消した今日においては彼の地位は事實上ハルピンを中心とする東支沿線における獨立政府の首班となつてゐるといふことも出來ないことはない、若し張學良氏の復活不可能となつてその勢力が東北から一掃されると見極めを付けたら彼のことであるから本式に獨立して或は吉林、黑龍江を合せて北滿の統轄者たらんと野心をもたげぬものとも限らない

張氏は遼寧省臺安縣の人で古い奉天講武學堂の出身である、前淸末巡防隊營長となり張作霖氏に從つて鄭家屯、洮南等の守備に任じ第一革命の際は奉天省城の治安維持に任じた、民國成立後張作霖氏が第二十七師長となるやその下に團長を勤めその後累進して奉軍第一師長となり大正十一年第一次奉直戰には奉天軍の先鋒を承つたが吳佩孚氏と氣脈を通じ兵を按じて動かず奉軍大敗の因をなした、そのため張作霖氏から逆賊扱ひされ永い間失脚してゐたがその後作霖氏の御氣嫌を取結んで歸參が叶ひ奉天勢力を代表して北京政府の陸軍總長や實業總長となり現在はハルピンの行政長官と南京の軍事參議院々長であり東北における軍政界の長老で相當野心もあり今後此の人の動きは注目すべきものがあらう

張海鵬氏

遼寧省盤山縣の人でもう六十三四歲の老武人である、卒伍から身を起し縱橫して大正元年第二十八師步兵五十五旅長、八年奉天陸軍第四混成旅長、九年東支鐵道護路軍哈滿司令、十四年洮遼鎭守使となり今日に及んでゐる

日本には以前から好感を持つて居た彼の地盤の直ぐお隣の興安屯墾督辦鄒作華が學良氏の信任を笠に着て兎角此の老先輩を無視するので兎角折合がよくなかつたが滿洲事變の近因を爲した中村大尉虐殺事件が鄒の興安屯墾軍の手で行はれ事變後屯墾軍の解決に張氏が當ることになつたのも面白い廻合せである

現在洮南で獨立して自ら邊防司令となり屯墾軍の歸順部隊を合せて二萬近くの兵力を有し目下黑龍江の政權を手中に收むべく積極的行動を開始してゐる

恭親王

大正六年張勳の復辟失敗後杳として消息を絕つた宗社黨が十數年振りに世間に現はれたのは滿蒙だからである、廢帝宣統を擁して滿蒙に明光大帝國を建設するといふ話は一寸時代錯誤がしてゐるやうだが滿洲だけのことゝすると全く實現性が無いと斷定する譯にも行くまい

升允死し肅親王亡き今同復辟派の中心となるべき人は恭親王を措いて他にはない、大連亡命十餘年間門外一歩を出なかつた恭親王が奉天に來たといふだけでも非常な驚異とされてゐる

復辟運動は今のところ宣傳時代に過ぎないが數ある獨立運動中最も大きな興味を持たれてゐる恭親王は淸朝の宗室で肅王家と並稱せられ英邁の資と目せられ民國成立後靑島に隱棲し日本が靑島を還附した時大連に移居した、年はもう五十に近い

郭道甫氏

本名はメルセといふ海拉爾生れの蒙古人で本年三十五歲、一昨年露支紛爭に乘じ呼倫貝爾靑年黨を率ゐて活躍したが張學良氏に威壓、懷柔されて歸順し邊防長官公署諮議の職を與へられ東北蒙旗師範學校敎授となつたが今度の事變が起るや逸早く呼倫貝爾に歸り靑年黨を指揮して活動してゐる

今後は支那人同樣鮮人を取扱ふ

眺望絕佳の長官公署において 熙吉林新長官と語る

吉林省長官熙洽氏を訪問すべく記者（南里特派員）は十一日朝八時卅五分發列車で赴吉、十一時半吉林着と共に先づ天野旅團長を訪問敬意を拂ひ、更に民會を訪ふて慰問の辭を述べたのち午後一時五十分松花江岸に面した眺望絕佳の長官公署に新長官を訪問した、舊政府時代の會議室兼應接室に待たされること十五分、午後二時五分より同四十分まで三十五分間の會見劉秘書の通譯にて左の問答を試みたが、新政府組織早々で陣容も大體整つたとはいへ、未だなほ多忙な日を送つてゐる關係からかいくらかの面窶れを見せてゐた

記者　新政府樹立早々で未だ落着かないでせう

熙　イヤ有難う

記者　新政府の人事は任命翌日から大異動を見た樣だが、今後もなほあゝいつた異動ありや

熙　內部的には少しはやるかも知れぬが大體落着いた

記者　新政府は軍隊の編成をやるか

熙　現在はまだやつてゐないが、いろく困難な事情もあるから今直ぐやるとは云へないが將來はやる

記者　逃亡中の敗殘兵は吉林へ歸る見込みはあるか

熙　多少歸來する見込みはある

記者　目下敗殘兵の所在は何處か

熙　烏拉街、樺甸にゐる

記者　敗殘兵の數は凡そどれ位か

熙　六千名位はある

記者　舊政府の各機關の首腦者はどうしてゐるのか

熙　省政府に關係のある者は元のまゝだが、その間多少の更迭はしてゐる、然し省長官公署には新人物も任命してゐる

記者　張作相氏の私財は吉林にあるか

熙　相當ある

記者　送つて吳れとの依頼はないか

熙　別にない、假りに送つて吳れと依頼して來ても送付する機關が現在ではない

記者　新政府に對して張作相氏の命令などは來ないか

熙　別に來ない、通信機關もないから

記者　東部線にゐる旅長で獨立宣言した者はないか

熙　具體的に宣言はしてゐない

記者　軍費の徵收策としてやつてゐる者があることは聞いてゐる

記者　從來軍費は送つてゐたか

熙　送つてゐたが時局以來送つてゐない

記者　吉林のみならず一帶に支那の軍費は頗る多かつたのだが、今後の對策はどうする考か

熙　吉林省としては從來とも軍費はそんなに多くはなかつた、然し今後はより節約する考へだ、徵稅額も他と比較して少ないがこれも更に善處するつもりだ

記者　今後管內の鮮人に對する取扱はどうするつもりか

熙　支那人と同樣に何等の區別なく取扱つて行くつもりである

記者　敗殘兵が吉林へ歸つて來た場合どうするか

熙　歸つて來る者も決して多くはない事と思ふがその中から善良なものを軍隊として採用する考へだ

記者　新に軍隊を編成したといふが如何

熙　衞隊として今度新らしく一衞（五百二十餘名）を編成した、更に工兵一中隊、憲兵一中隊も近く編成するつもりである

記者　今後大々的に編成することはないか

熙　治安維持に差支へない程度に編成する

記者　獨立宣言を率先して日本と交涉する準備及び意思はないか

熙　目下のところまだそこ迄は行つてゐない

記者　宣言は南京政府の意思ではないのか

熙　左樣ではない

記者　永衡官銀號の整理については如何

熙　地方的の習慣があつて右から左への整理は困難だ然し漸次改善する意思は持つてゐる

記者　日本との從來の懸案に對しては如何

熙　當然やるべきものはやる

記者　鐵道問題は如何

熙　契約に從つて實行する考へだ

記者　長春の出先官憲の更迭はどうするか

熙　市政籌備處長に金璧東（肅親王の遺兒）を推し、吉敦、吉長兩鐵路局々長を兼任せしめるつもりだ、公安局長には孫仁軒（寬城子で負傷した前寬城子稽查處長）を任命した

……はまだこれからだ、それよりもこちらの日支衝突事件の輿論はどうか

記者　內地ではあらゆる人々が滿洲問題といふことに非常な注意を向けて來たし、衝突勃發前までは內地の輿論も戰爭肯定、否定の兩論があつたが今では殆んど全部が戰爭を肯定しそれを當然として支持してゐるやうだ

鮮人に危害せば飛行機で討伐す

熙長官、敗殘兵に通告

事變發生以來吉林附近の部落において耕作に從事してゐた鮮農は敗殘兵の掠奪暴行を恐れて一時吉林に避難しその數五百四、五十名に上つてゐたが、これら鮮農は戰禍を恐れる餘りまだ今年の收穫もしてゐないので、天野旅團長は鮮農保護のため熙洽長官を通じて離散せる敗殘兵に對し、鮮人に對して危害を及ぼす際は飛行機討伐を行ふ旨を傳へ、熙長官は十日夜幹部會議の結果、この旨使者を派して敗殘兵に傳へ鮮農保護を約したので、鮮農はこれに力を得て兩三日中にそれぞれ耕作地に歸り收穫を終ることゝなつた【吉林電話】

鄉團を組織 我軍に當る

前奉天公安隊長趙夢周は今回の事件で逃れて錦州にあり同地で公安隊長となり各縣長に鄉團の編成を强制して居るが法庫門では既に四千四、五百の編成を終へ殘敵黃布の腕章を配付して居るとの趣隊長に報告あり、各地における募兵は卽ちこの編成のためであつた該鄉團は專ら實力を養成、時機を見て我軍に當らんとするものである【奉天電話】

支那側への賣掛け代金

支那側官公衙に對する邦商の賣り掛け代金請求は奉天商議において一括して市政公所に依頼するため第一回九月三十日までの分を提出したが十日の締切りまでに提出せるものは三十六口、その金額二百三萬八千圓、現大洋二十五萬六千餘元、これを總計すると實に四百十三萬三千餘圓、現大洋二百八十萬元の多額に達して居ると【奉天電話】

重光公使 抗議書手交

【南京十一日發】重光公使は今朝十時外交部長代理李錦綸氏を訪ひ九日附帝國政府の抗議書を手交した、支那側では特に自動車三臺に憲兵を乘せ重光公使の往復を嚴重護衞した

滿鐵の作業管理改善

目下着々研究中 荒木囑託談

作業管理における日本の權威者滿鐵囑託荒木東一郎氏は十一日入港のはるびん丸で一ケ月振りに歸連したが語る

東京に事務所があるしそれに產業合理局の仕事にも關係してゐるので始終內地とこちらとを往復してゐるだけで別に土產話はない、滿鐵の作業管理の改善も目下着々研究はしてゐるが仕事

小川敬次郎博士けさ來連

日本鐵道土木學の權威工學博士北海道帝大敎授小川敬次郎氏は學友根橋滿鐵技術局次長、敎へ子滿鐵地方部柳田技師等に出迎へられ十一日入港のはるびん丸にて來連、遼東ホテルに入つたが「この際政府の特別な依頼でもあつて來られたのですか」と問ひに記者に語る

いや學校の試驗中を利用し漫然と鐵道土木工事の見學に來たまでだ、奉天は二十數……來たが旅大は始めてなの……には五六日滯在、それか……經由朝鮮を通つて歸るつ……東京では吉林などは危な……止せなんて言つてゐた、わけで別に御話もないん

第二の反抗 (54)

三宅やす子 作　阿部金剛 畫

家出の後（四）

「お父さん、おゆるし下さい、私はしばらく一生懸命に働いて、お金を送ります。それよりほかに、私のゆく途はないのですから、どうぞ私の我儘を御ゆるし下さい、居所が、よくきまるまで、ほつといて下さいまし、いゝところに住み込めるやうになつたら、すぐおしらせしますから」

郵便局の窓口で、封緘はがきに走り書きをして投下してしまふと喜美は、今晚のゆく先をまづ思ひ定めなければならなかつた。

勤め先の仲間で、少しは家の事情も明かすほど、親い友達のところに、何げなく足が向いた。

「どうしたの？」と云つて、出迎へてくれると思つた友達は、家に居なかつた。部屋を貸して居るたばこやのお上さんは

「さあ、夕方、お出かけになりましたよ。何でも活動か何からしかつたんですよ、ことによると今晚はおそいかもしれないつて斷つてらつしやいましたから」

ニヤくして話す話し振りから察しると、誰かと連れ立つて出たのであるらしい。

さうした友達を待つて居たつて仕方がないと思つて、喜美はそこを出た。

さうして、歩きまはつて居るうちに、細い、しかし賑やかな通りに出て、そこで見た「女給さん募集」の札。

フラくとその中に彼の女の足が吸ひ込まれた。

「あんたですか」

何とか應對したのだが、何もかも夢中だつた。

「働いて御覽なさい」

といふ返辭をきくまでには、さはかゝらなかつたらう。

ほつとして、今夜の宿を得たのであつた。

それが彼女の女給生活のである。

一週間、そこに辛抱する彼女は、まるでさびれた、居ることが、何の役にも立……ことを知つた。

丁度、客の中に、それははじめて來た時から、彼女に親切に話しかける客だつたが、もつといゝところを世話してやらうと云つてくれる人があつて、その人の紹介でカフエ・ミナ（それが最初の家の名だ）よりは、ぐつと大きな店にはいることが出來た。

さうして、當分こゝに落ちつかうと彼女は決心した。

それまでに、彼女は、寮一のことを、たまに思ひ出したが、自分の身の振方の不安に消されて、うらみも戀しさも、少し薄らいだかたちになつて居た。

カフエ・フヨウの客だちはよかつた。

若い會社員や、官吏風の男も多數集つた。

其中で、どうかして寮一にそつくりな背格好の青年が、扉をあけてはいつて來る瞬間、彼女はオヤツと思つたりした。

賑やかな生活の中で、彼女のあさは、やはり、また、寮一のあとを追つて居るのだつた。

社說

金輸出再禁說の擡頭 —(其の必要)—

英蘭銀行の兌換停止は、世界の經濟界に異常なるショックを與へた。之れが爲め、スカンヂナビヤ各國は直ちに金の輸出を禁止するに至つたが、其の他の諸國も、程度の差こそあれ、何れも相當の影響を被つてゐる。現に我國の如きも、近來對外貿易のバランスの大に改善されてゐるに拘らず、正金銀行は續々金貨を輸出せんとしてゐる。而して日本銀行は之を防止せんが爲め、一擧にして金利二厘方の引上を斷行した。いふまでもなく火元は英蘭銀行の兌換停止にある。隨つて我國では最近再び金の輸出を禁止すべしとの論が擡頭し、相當に有力のやうに見えるが、吾人は尤もの次第として之に贊成するに躊躇しないものである。

◇

元來金本位は何の爲めに必要であるか。曩に濱口內閣が、金の輸出解禁を斷行して以來、世間は甚だしく不景氣となつた。農民も商工業者も悉く生活に苦しむに至つた。啻に國民全體が之が爲めに生活難を訴ふるに至つたのみならず、政府自身も甚しき苦境に立たざるを得なくなつた。不景氣の爲めに歲入は減る一方であるに拘らず、官吏の月給は左程減ぜぬ。公債の利子は固より少しも減ぜぬ、其の結果歲計は每年每月赤字が續出するのみである。之れも畢竟曩に濱口內閣が金の輸出を解禁した結果に外ならぬ。濱口內閣は固より金解禁の結果若干の困難を覺悟してゐたであらうが、恐らくは國家及び國民がこゝまで甚しく困らうとは豫期しなかつたに相違ない。勿論金解禁は、金本位制を維持せんがためである。但し政府と國民は何故斯程までの困難を耐え忍んでも、是非とも金本位を維持するの必要があるか。金本位制は何故左程有り難きものであるか。吾人は先づ此の點から、研究するの必要がある。

◇

なるほど過去に在りては金本位制は有り難きものと考へられてゐた。國家としては、萬難を排しても、是非とも金本位を維持せねばならぬものと考へられてゐた。之れは何の爲めであるか。畢竟金は其の性質上價格の變動が少く、隨つて物價測定の尺度としても、又長期に亘る債權債務の公平を維持する上から云ふても、金を本位とすることが最も必要と考へられてゐたからである。金は過去に於ては、或は此職分を盡くしたかも知れぬ。多少買被ぶられてゐたかも知れぬが、兎に角此點に於て金は比較的適當してゐた。然るに近來は如何。金は果して此の特質を今尙有してゐるか。過去十年間に於て、金貨國の物價は約二分の一に下落した。卽ち金の價格が夫れだけ變動してゐることを示すものである。夫れのみならず、過日來吾人が本欄に於て一再論述した如く、最近の金本位は大に債權債務の關係を紊るに至つた。全國民が負擔する約二百億圓の借金は、最近十年間に於て事實上四百億以上となつた。其の利子支拂額も正に之に比例して激增した。隨つて全國の債權者は、爲めに意外の利益を得て、歡喜してゐる間に、債務者は、不景氣と生活難とに泣かされざるを得ないのである。全國の農民が塗炭の苦に陷つてゐるのも、又商工業者が破產の苦境に沈んでゐるのも、悉く此の金本位貨の價格激變の結果である。

◇

最近の金本位は斯くの如く厄介千萬なものである。否、暴戾を逞うしてゐるのである。寧ろ國家社會のために甚だ有害のものとなつた。然るに此の有害なる金本位を、前記の如く數々の犧牲を拂つてまでも、我國は何故之を維持する必要があるか。是れ何人も疑はざるを得ざる點である。

尤も金は本位貨幣として全然之を排除することは出來ぬ。蓋し現今の世界では、假りに金を排除するも、之に代つて本位貨幣とすべき適當のものが、他に見當らない。矢張り金が比較的弊害少き本位貨幣として用ひられねばならぬ。されど近年の如く金の價格の激動する間は、暫く之が本位貨幣としての使用を見合せ、其の價格の稍落着くを待つて更に其の職分を盡くさしむるのは、寧ろ必要ではあるまいか。乃ち吾人が金再輸出禁止に贊成する所以である。

井上藏相は日本銀行の準備金が今尙豐富であるから、金輸出禁止の必要がないと公言してゐるが、豐富であると否とは問ふ所ではない。今金本位を維持することが、甚しき弊害があるから、其の落ち着くまで暫く之を拋棄せよといふのである。而して其上で新平價を制定するも可なりといふのである。

東三省官銀號 十五日より開業

奉天の日支金融會議において 管理辦法決定す

既報日支金融關係による十日のヤマトホテルに於ける日支金融會議は午前九時三十分より午後六時に至る長時間のものであつたが官銀號に關するものは左の如き東三省官銀號管理辦法を設け十五日より開業することゝなつた

本辦法は新政權設立し官銀號整理と同時に以上の效力を失ふものとするものである、因に以上に關する細則の協定、特產出廻り期に備ふる瀋海鐵路の開通問題並に東三省財政根本方策その他に關して本日も會議を繼續してゐる【奉天電話】

營業 公金の取扱は左記の制限を受くるものとす

一、從來の公金はこれが拂戾しをなさず

二、今後の公金取扱は新勘定によつてこれをなす

預金拂出

一、普通預金者に對し貸出しある場合は預金の拂戾し額に應じこれを差引き考慮することあるべし、但し同業者に對してはこの制限を設けず

二、預金の支拂ひは左の限度を受く、五千元未滿は全額拂出し、五千元以上一萬元未滿は六千元拂出し、尙一萬元を增す每に拂出し金一千元を增加するものとす

三、預金拂出し回數は一人に付き一週間一回とす、但し新規預金者は自由とす

貸出

一、從來の貸出し金は極力これが回收に務め已むを得ざるもの、外はこれを行はず

二、支店の取扱ひに關する貸出しは一々本店の許可を要す、尙附屬營業に關する貸出しは逐次これが整理をなす

爲替取組

商取引又は個人の正當なる要求に限りこれに應ず、亦滿鐵沿線各支店において大爲替の依賴を受けたる場合は本店の許可を要す

紙幣發行

一、未發行の紙幣はこれを嚴封の上保管す、尙破損のため新發行を要する場合はこの限りに非ず

二、新紙幣發行の場合は發行準備金を要す

一、奉天城內に兌換所一個所を設く

兌換取扱制限

二、一人一日の兌換は現大洋五十元に限る、尙百元以上城外帶出を禁ず、これを犯す者は嚴重處罰する外地方維持委員會所定の罰則を受く

首腦者決定 官銀號と邊業銀行

東三省官銀號および邊業銀行の首腦者は十一日左の如く決定した

東三省官銀號

總辦兼會辦 吳恩培
副總辦 劉德文
總文書 王述文
總稽核 王德恩
副稽核 孫耀宗
同 王元澂

邊業銀行

總裁事務取扱 閻澤溥
經理 郭尙文
副經理 張寶錫
同 郭集珍

兩銀行顧問 首藤正壽

兩銀行諮議 向井忠 川上喜三 竹內德三郎 田中德義 福田琢治 酒井輝馬 鈴木輝之 芝田研三【奉天電話】

邊業銀行も同時に開業する

滿鐵首藤理事語る

東三省官銀號及び邊業銀行の開業に關して滿鐵首藤理事は語る

地方維持委員會の日支各銀行代表を網羅する金融委員會は時局關係で休業中の東三省官銀號及邊業銀行の金融維持方法に關して愼重協議の結果主體案を作りその金融辦法を決定せる外その他兩銀行總辦並びに監督若干名を決定し愈々十五日より開業することになつた、實は十二日の月曜から開業し、一日も速に財界の不安を除く心算であつたが銀行員が郷里に歸り不在の爲め準備が整はず已むなく十五日になつたのだ、尙銀行開業後は現在現大洋が大洋銀に對して二割安であるのを同價額に維持する筈である兩銀行の兌換準備金は充分であるから滿鐵から支出するやうな事はない

尙官銀號總辦は副總辦を以てこれに充てる筈で監督は滿鐵首藤理事正金、鮮銀支店長を初め二十名である【奉天電話】

滿洲事變に關し中外に聲明す (一)

滿鐵社員會發表

二萬會員を擁する滿鐵社員會は今回の滿洲事變に際し敢然起つて歐米各國人の誤解を解き正しき滿蒙問題の批判を求めるため國際聯盟當事者および歐米各言論界に呼びかける聲明書を發することゝなつたが左はその日本文の原文である

滿鐵全社員を以て成り滿洲最大の日本人團體たる滿鐵社員會は國民的義務觀念に基き其擁する二萬の會員の名に於て時局に關する所信を中外に聲明する

日本及日本人は斯の信念に立脚する

東洋平和の確立を計り民族共存の實を擧げ以て人類文化の進展に貢獻するは實に明治維新以來の國是とするところである

日清日露の兩戰役は滿蒙兩國の侵略政策が我國防の安固を脅かしたるに起因すること勿論であるが、同時に東洋全局の平和に關して責務を感ずる日本道義精神の發露なることは兩戰役宣戰の詔勅及び當時の國論が炳として之を示す

世界民衆は斯の歷史的事實を記憶せよ、日清戰役の賠償の一部として我國土に加へた遼東半島を我國は東洋平和の名に於て支那に還附した、然るに支那は直に以て露國に與へ、加ふるに我國を敵とする秘密攻守同盟條約を結び露國をして軍事鐵道を敷設し旅順要塞を築造し殆ど全滿洲を占有するを得しめて故意に禍亂の因をつくつた

(此の密約の內容は華盛頓會議の要求により支那代表によりて記錄された)

其後十年我國が再び國運を賭して滿洲の野に戰ひ十萬の生靈と二十億の國幣とを犧牲にせざるを得ざりしもの、一に支那の背信行爲に基くものではないか、幸ひにして戰ひ我に利あり滿蒙に於ける露國の權利を賠償として引繼いだが、その實質的には支那の背信行爲と三國干涉とによつて失へるところを回復したに過ぎぬ、而して國運を賭したる此の兩戰爭を通じて我國民は滿蒙を支那の爲すがまゝに委すべからざることを學んだ、東洋の平和を保持し我國防の安全を期せんとせば、先づ滿蒙に我權益を確立せざるべからざることを學んだ、此の故に滿蒙に於ける我權益は、之を我國民の正義觀念及國防觀念と引離して考へ能はぬ、之を權益と謂ふも實は我國家及民族生存權の最小限度の主張にして又東洋平和維持の爲めの缺くべからざる保證に他ならぬ

我等は滿蒙に於て何を爲したか

滿蒙の地は二十數年前迄目するに磽确不毛の邊土を以てせられた、我國之が開發に當り十七億の巨資を投下し、我文化的施設と經濟的援助を此に加ふるや其土地は保全せられ鐵道は通じ礦山は開かれ二十年にして人口增加約一千萬、我國人の來往する者亦一百萬、茲に諸民族共存の一大樂土を現出した、之を貿易に見るに日露戰役前年額僅かに五千八百萬圓に過ぎざりしもの、昭和二年には六億七千萬圓となりて支那總貿易額の三割五分を占むるの優勢を示し、今や支那全土中最も富める地方となつた、而して支那軍閥の搾取あり且つ滿鐵沿線以外の地に於けるその治安維持十分ならざるにも拘はらず滿蒙三千萬の民衆は支那何れの地方にも增してその慶福を享受しつゝある、これ全く我拮据經營の賜にして、所謂日支共存共榮が口頭禪に非ずして眼前の大事實たる證左である

(1931年版英文第二次滿洲報告書を見よ)

18–3 滿鐵軍振ひ 旅順工大敗る

きのふのラグビー戰

大連滿鐵對旅順工大ラグビー戰は十一日午後二時より大連運動場に於て渡邊(主審)金川、西澤(線審)三氏審判のもとに工大先蹴で開始、ビッグゲームと期待されて居たが滿鐵六トライ、工大一トライ十八對三で滿鐵大勝す

滿鐵 {12—0 / 6—3} 工大

前半 滿鐵トスに勝ち風上(プール側)に陣し工大キックオフ一分工大FWドリブルで敵陣廿五碼內に攻入り優勢となる二分滿鐵陣ルーズの球森高好パンドしてこれを得て突進し星名これに續き星名に渡りゴール前に迫りトライチヤンスと見えたがドロップアウトとなり後滿鐵右左し攻め立てたが工大大いに防ぐ工大HB太田の奮戰でもり返へして敵陣十碼內に攻め入り大澤得て突進したが右二十五碼フラッグ附近でタッチとなる十分ハーフライン附近のルーズの球滿鐵に出で大石好パンドしたが、工大FB長谷好守してもり返へし十二分ルーズの球長谷川、浦野、田中と渡り右タッチに沿ふて突進、工大FB長谷タックルして止め續いて中央ルーズの球滿鐵に出で浦野森高星名田中と右に流れ右フラッグ寄りに最初のトライを擧ぐ(十四分)▲十八分ハーフライン上のルーズの球滿鐵に出で浦野森高星名田中と右に流れたが、工大長谷タックルし後右十碼前タイトの球田中星名と左に流れ更に森高と渡りポスト左クラッグ中間にトライす▲中央小競合後大石ドリブルで右敵陣に攻め入つたが工大西森よく防ぎ浦野この球を得て好ダズル森高に渡り右ポスト寄りにトライす▲滿鐵直ちに攻入る十二分ハーフライン附近ルーズ滿鐵の球浦野得て左タッチに沿ふて出で右オープンにキック森高、關田、これを追ふて突進工大樋口ポスト前でこれをつかみキックせんとしたがしそこなひ、關田すばやくこれを得て右に出で右フラッグポスト間にトライす(二十七分)▲後工大大いに挽回に努めたがハーフタイムとなる

後半 二分三十秒長谷川のキックで敵陣左深く攻入つたが工大よくこれを防ぎ五分中央ルーズの球滿鐵に出でTB線右に流れるを太田インターセプトしてこれを得ドリブルしてよく攻入るも成らず七分滿鐵陣右ラインアウトの球浦野得て長驅して敵陣深く攻め入つたが、工大長谷タックルしてこれを防いだが九分右ゴールライン前五碼タイトより滿鐵に出でたる球長谷川、田中と渡り右隅にトライ▲工大優勢となつて敵陣右深く攻入る十三分滿鐵自陣左ルーズの球關田得左タッチにそふて長驅ハーフラインまで挽回したが工大TB、好くこれを得今福の長蹴で再びもり返へして敵陣二十五碼內に攻入り左五碼附近ラインアウトの球FW下押し切つてドリブル木內これを得て左クラッグ寄りに工大最初のトライを擧ぐ(十五分)▲十三分工大中央よりFWドリブルでよく攻め入り左五碼まで進み再びチャンスと見える二十一分滿鐵陣二十五碼內ルーズの球田中得て左に抜き工大これをタックルしたるを星名ドリブルし後森高中原とTBドリブルでゴール前に殺到したが工大太田これを得てキック、球は突進中の滿鐵土井に當り轉々とするを土井とび込んでトライ▲工大TB、滿鐵FWの疲れに乘じてTBドリブルで攻入るも二十六分滿鐵よくこれを防ぎ滿鐵陣左十碼附近のルーズ球を關田得て右に大石、田中と渡り田中これを得て長驅右クラッグ寄りに突進したが疲れて寸前で津田にタックルさる工大挽回大いに努めたが遂に僅かに一トライを得たのみで十八對三で敗れる

(滿鐵)
原岡原邊谷石井田川野中名高原尾
日松柏渡西大土關長浦田星森中峰
FW HB TB FB
(工大)
木福岡菊津大小伊田大栗今寺樋長
內田田地田澤盛藤中田林福島口谷

審笛

日支衝突のため一時中止の形となつて居たラグビー界も工大對滿鐵の試合に依り開始された、技倆はさておき工大は相當の元氣で試合に望むであらうと思つて居たが學生チームとして元氣さは全く見られず此の缺陷が因して十八對三といふ餘り香しからない戰績に導いたものであらう、試合は割合に平凡だつた、もつと波瀾の多いことを豫想して居たのだつたが、勿論これは前述の元氣さの缺如にもよるが練習不足か或はまた無秩序な練習をして居る結果ではなからうかまたタックルも必要だ、而して手にしたる球は責任を以て處理すべきではなからうか、滿鐵は最近育成を出た新らしい人を大分入れて新陳代謝の大英斷振りを見せた然しまだ新らしい人には充分研究する必要がある、この點新加入の人々の自重を望む、老巧星名、關田森高(以上滿鐵)大澤、太田(以上工大)のプレーが一際光つて居た

この殘虐を見よ!

日貨を取扱つた故を以て同國人を私刑に處し、その上晒し物にした上海抗日會の暴狀を見よ

澤山兵隊さんを出した國家功勞者を表彰

あすの閣議に具體案を附議 勅令をもつて公布

【東京十一日發】一家族で多數の兵役服務者を出した國家功勞者の表彰は來年の軍人勅諭下賜五十周年及び徵兵令發布六十年記念祝典を期して行はれる軍事功勞者表彰と同時に國家からこれを行ふ事となつたが、右具體案は十三日の閣議に附議したうへ勅裁を仰ぎ直に勅令を以て公布される筈である、右勅令は表彰內容には觸れず賞勳局の內規として大體左に該當する功勞者三萬三千百五十六名(昭和四年末調査)にそれぞれ御下賜品を仰ぐ事となり、豫算は約三萬圓である

三名服務者(二萬五千七百十七名)賞勳局總裁の褒狀、四名服務者(五千四百七十三名)木盃一個、五名服務者(千六百六名)木盃一組、六名服務者(二百九十一名)銀盃一個、七名服務者(五十六名)銀盃大一個、八名服務者(十一名)銀盃一組、九名服務者(二名)金盃一個

八相

投書歡迎 五十行以內 中篇はさらず

埠頭待合所の利用 櫻香

◇われ等大連市民は東洋一の埠頭を自慢の一つにしてゐる、しかも汽船の發着にはこの埠頭の何と無秩序な混雜を呈することか

◇船の出入每に送迎人が多數に上ることは當然で、從つて相當混雜するのはこれまた當然だが、立派な設備を完全に利用することをせぬ多くの人のためにこの混雜が更に甚だしくなるにいたつては慨ない。

◇埠頭の混雜はその大部分が送る人送られる人、迎へる人迎へられる人を搜すための混雜である、この混雜を緩和するために待合所の柱にカだとかマだとかの札をイロハ順につけてあるのだ、これを利用すればイの頭字の人はイの柱の下です、べての人と訳なく會へる、

◇この柱さへ利用したら何も八方手分けして人を搜す必要もなければまた逢へる人にも會へずに間一髮の所で一目見ただけで言葉も交さず別れることもしないですむ、またこれを皆の人が利用したらあんなに混雜しないですむ筈だ、

◇東洋一の埠頭を誇る大連市民よこの埠頭の設備を充分利用して東洋一を意義あらしめるやうにして下さい。

哈市双十節 案外平穩

【ハルビン十日發】氣遣はれた本日の双十節は案外平穩裡に經過した、行政長官張景惠氏は各國領事を招待し祝賀式を擧げた

タス社特派員 ス氏來滿

勞農ロシヤにおける御用通信社として各方面で問題を撒き注目されてゐるタス社北平駐在員スレパック氏は十一日入港天潮丸にて來連したが、仄聞するに直に奉天に行き今次の事變につき調査をなす事になつたもので奉天における行動は注意に値する

大觀小觀

羽衣女學校新築校舍の崩壞はまことに稀有の大椿事だ▲これが若し既に建築完成し學生の授業中であつたら何うだらう▲慘事は一層大なるべく花の如き處女の幾人が犧牲になつたことかと思ふだに身慄ひを禁じ得ない▲崩壞の原因はいづれ專門家の手により調査判明するであらうが工事の取急ぎ、或は粗惡材料等此場合考へさせられることが多い▲この二三年來鐵安で建築物が盛んに殖える、而も地處の少いのを幸ひに煉瓦積みの亂雜さ、セメント塗りの粗惡さなどが隨所に眼に觸れる▲また請負金を附して工事を取急ぐと云ふ例などもよく聞く話だ▲不正工事云々の問題は別としてもそれが若し今回の慘禍を生じた原因だとすると▲今後のこともある建築物取締り上何か適當の措置を講ずる必要はないか「蔦紅葉ちぎれしまゝや崖崩れ」——邪道句子」▲米國が愈々滿洲事件調停について乘出しの氣配▲名は調停でも一方を抑へやうと云ふ調停ならば、調停が調停にはならない▲國際聯盟と云ひ米國と云ひ下手に動けば却つて當事國を刺戟し、事件の解決を紛糾せしむるやうなことにならう▲「渦えがてにまたも風あり落葉焚き」——邪道句子」

羽衣女學校崩壊の椿事

起重機まで動かし發掘の難作業

きのふ午後十二時迄に重傷者一二 壓死者八名を掘出す

新築中の大連羽衣女學校の崩壊慘事は大連工事界初めての出來事として各方面に非常なショックを與へ、十一日午後は急を聞いて駈つけた現業員組合其他工事關係者の手で死體の掘出しと復舊作業に從事してゐる、何分大建築物二棟も崩壊してゐることゝて作業意の如くならず埠頭のクレーン二臺を動かして岩石や木材を搬出し、アセチリンガスで鐵筋を燒き切るなど大童の作業振りで復舊作業の完了は夜に入つた、午後十二時迄に判明した死傷者は死者八名、重傷者十二名、輕傷者約二十名に達し、未だ埋沒せるもの數名と見られてゐるが、おそらく絶命は免れないであらう、現場附近は日曜のことゝて黑山の如き日支見物人で取りまかれ、小崗子署員が聲をからして整理する有樣、工事場裏からは死者三名の遺族が慘死體に取りすがりアイヤ〳〵と泣き叫ぶ聲が痛ましく響き見物人の同情を誘ふてゐた

無我夢中で這出す

生埋めとなり奇蹟的に助かつた 邦人老左官職語る

生埋めとなり奇蹟的にも微傷すら負はず助かつた市内黑部通り六番地左官職田村重太郎(五七)さんは土埃にまみれた顔に喜びの色を湛えて語る

地下室で仕事してゐると頭の上でガラ〳〵ツと大音響がしたと思つた瞬間私の視界は眞ツ暗となり、二三分間は遠くに誘ひ込まれるやうな夢心地でした、やがて身體の上を被ふた土瓦の重味に苦し味を覺えてハツと氣を取り直し、無我夢中で土瓦を搔き分けるとやがて仄かな光がさして來たのに元氣づき一生懸命の力で這ひ出たのです、その時は全く蘇生の思ひで命拾ひをしたといふ喜び以外に何物もありませんでした、次の瞬間傷を受けてゐないかと氣づき自分の身體に就いて調べましたが御覽の通り傷らしい傷もなく只身體の節々が少し痛むだけです、餘りの奇蹟的に何んだか夢のやうです

聖上陛下 帝展行幸

皇后陛下と御もろ〳〵

【東京特電十一日發】美術シーズンに入り各展覽會が相ついで開催され上野の秋を賑はしてゐるが、天皇、皇后兩陛下におかせられては十五日御揃ひで帝展へ行幸啓遊ばされる旨仰出された

博愛醫院に 負傷者收容

一方崩壊現場では直に構内假小屋に事務所を設け土建協會常務理事小黑隆太郎氏を總指揮とする葬儀委員、其他工事、救助作業等の役割を定め應急策を講ずると共に刻々として掘り出される負傷者は現場に出張中の赤十字醫員の應急手當を受け、重傷者は直にカンフル注射のうへ消防自動車にて小崗子博愛病院に收容したが、同醫院では崩壊と同時に小崗子署よりの急報によつて一室三十餘室の準備を

けふ改めて 檢證

大連檢察局から現場檢證のため池

内檢察官、小崗子署から三浦署長牛田建築係官など出張したが日沒に至るも復舊作業完了せぬので當日は簡單な檢證で終り十二日關東廳土木課技師の出張を俟つて大々的檢證に取り掛ることゝなつた、司法當局では崩壊原因を探究し責任者の詮議を明かにせねばならぬので設計、工事兩方面から專門的研究を續けるものと見られてゐるが、目下崩壊の第一原因として擧げられてゐる二點即ち工事を急いだ爲めコンクリート及びモルタルが乾燥してゐない上に煉瓦を積み上げたのでその重量に耐えなかつたといふ點、設計の不完全から土臺にたるみを生じたといふ點に重きを置いて取調べを進めることゝなつた、なほ其他煉瓦を積上げるコンクリートに粘着力がなかつたといふ點は業務上過失か不正かの重大な分岐點となるので、檢察當局では崩壊せるコンクリート及びモルタルを採取、關東廳土木課に鑑定を依頼する模樣である

豎へ孟院長外數名の醫員が運び込まれた負傷者に片つ端から手當を加へたうへ病室に收容するなど、同院は宛然戰場の如き有樣である

設計監督の責任者 宗像氏につき取調

ゆふべ五時間に亘り

羽衣高女校舍崩壊事件につき崩壊場所を實地檢證した池内檢察官は今野書記を帶同午後七時より紅葉町派出所に赴き同所を假調所として校舍建築設計者、並に監督責任者である市内連鎖街廣小路宗像建築事務所主宗像主一氏(三七)を召喚午後十一時迄前後五時間の長時間に亘つて嚴重訊問したが、崩壊した校舍は現場の有樣より見て一見素人眼にも不完全であることが看破され得るほど粗雜なものであり果して本建築物が當該所轄警察署及び關東廳土木課の建築許可をなしたものと同一仕樣書通りに築造されたものなりや否やに疑はしき點あり、この點に關して檢察局としては相當疑惑を有つてゐるもゝ如く、殊に設計監督者としてかゝる粗雜な工事、不完全な建築をなした點につき直接工事請負の任に當つた今井組との間にも何等かのデリケートな問題が伏在せるものゝ如く取沙汰されてもゐる折柄の、如く取沙汰されてゐる折柄、檢察局としては苟くも多數人員を收容し、その完全と否とが直に多數者の生命に關する重要な大建築物の崩壊については治安上忽せにすべからざる事案だとの見解を有してゐるから宗像氏の取調をきつかけに多數の關係者に對して嚴重な取調が續けられる模樣である

7—1 本社長カップ 滿鐵軍が獲得

練習不足の實業軍

本社主催、大連實業對大連滿鐵のヴエタラン對抗硬球試合は十一日午後よりも引續き彌生町三井物產テニスコートに於て續行された、市中御午前中のシングルスの不振をダブルスで挽回せんと力戰大いに力めたがダブルスも遂に滿鐵側に名を成さしめ七對一で滿鐵チームの雪辱成り本社々長盃を獲得した、閉戰午後四時十分

ダブルス

滿鐵		實業
三浦 田中	6—0 6—1	金木 村原

▲第一セット　實業組のサーブに始まり滿鐵難なく一ゲームを取り續く五ゲームも三浦、田中の好コンビネイションに6—0で第一セットを終る
▲第二セット　實業組盛んにロビングを擧げ三浦のフォアー田中のバックを透れ四オールとしたが滿鐵の逆襲にこれを防ぎ得ず

第二セットを終る

木江	0—6 6—0 7—5	吉河
暮夏		野富

▲第一セット　實業組滿鐵のコンビネイションの暇はざる隙に乘じ輕く六ゲームを奪ふ
▲第二セット　滿鐵漸くコンビネイション整へヴオレー、スマッシユともに極り反對に6—0と取つてセットオールとなる
▲第三セット　滿實ともに美技續出して觀衆を喜ばしめ互にゲームオールを繰り返したが遂に7—5の接戰で滿鐵點をなす

阿部	8—10 6—4	渡邊
隱岐		飯河

最初の豫想通り好取組のことゝて一球毎に觀衆手に汗を握る
▲第一セット　實業組5—2とリードしたるに滿鐵組頑強に抵抗し五ゲームオールにし6—6にもり返し再び滿鐵7—6とリード、7オール、8オールと繰り返へしたが遂に10—8

で實業先づ一セットを得
▲第二セット　滿鐵作戰を變へ一擧に敵を倒さんとしたが老勇飯河よくこれをこなし6—4で滿鐵リードしセットオールとなる
▲第三セット　最初双方共にエースを續けつゝあつたが、滿鐵4—2とリードせるとき實業飯河足を痛め棄權の止むなきに至り滿鐵の勝ちとなる

白球

總計滿鐵七對實業一で滿鐵の大勝するところとなつたが各組のゲームはスコアーが示す如くシーソーゲームが多く近來稀な好試合であつた、實業側はナンバー、ワンの渡邊君(三井)をのぞく以外は總じて練習不足で只突然本年度より出場せる小笠原君(國際)は全くダークホースで滿鐵ヴエタランのシングルスプレヤーの第一人者三浦君(鐵事部)も可なりの苦戰をした滿鐵の木暮君(ホテル)のプレーは同君多年在米中のことゝて仲々ファインされたものであつた、實業渡邊君(三井)はシングルスプレヤーとして申分なくポイント毎に確實にプレーを進めて行く邊は實にナンバー、ワンの貫祿を充分に示すものであつた、また滿鐵側のナンバーワン阿部君(鐵道部)は往年をしのぶのに充分でシングルスのセカンド、セットは5—2とリードされ、最早と思はれたがグン〳〵もり返し遂にセットオールとなし、續く第三セットを物の見事に奪ふなど正選手時代の面影躍如として現はれて居た滿鐵田中君(鐵道部)はシングルスでは可成り苦戰をしたがダブルスでは斷然雷り、これまたヴエタラン第一人者としての貫祿を示した、勝敗は第二として斯界のヴエタランが、フレンドリーマッチとして斯界のために貢獻することは決して無意義なことではない

上海で日支人 大亂鬪を演ず

英人巡査の邦人毆打がもとで

【上海十一日發】共同租界警察の取締り緩漫に租界内は排日ビラで埋まるに至り、これに憤慨した邦人數十名は午後三時北四川路筋のビラはぎを行つたところ文路角で工部局英人巡査がこれを阻止し邦人を毆打したゝめ大亂鬪となり、支那人彌次馬が短刀を拔き放つてなぐり出るなど形勢急を告げ日支人警官等約十名負傷した、急を聞き我陸戰隊トラックで駈つけ漸く群衆を追ひちらしたがこの騒ぎに北四川路筋の日支人は睨み合の形となり陸戰隊は嚴戒中、工部局の排日運動擁護に傾く奇怪な態度は邦人を憤慨させてゐる

ボンアミー　磨きに　掃除に　艶出しに

我海軍集會所に 放火の暴擧

宜昌の抗日熱つのる

【宜昌十一日發】排日團の狂暴は益々募り九日暴徒の一團は我海軍集會所を襲ひ書記一名は辛くも他へ避難したが、十一日午前一時再び襲來した暴徒は集會所に火を放ち陸戰隊の鎭火效なく本館を殘し他は全部燒却した

彌生高女の 運動會

盛んに擧行

大連彌生高女の運動會は豫定の通り十一日午前九時より同校々庭に於て開始された、數日來の風も全くなぎさまり拭つた樣な十月の朝空に陽の光がまぶしい、久しぶりの好天と日曜とに惠まれた保護者たちは、可愛い坊ちやんや孃ちやんを伴つて陸續と會場に集り、紅白のダンダラ幕の内側にしつらへた觀覽席は定刻前既に空席もないまでに埋められた、定刻君が代の合唱と國旗掲揚式に會は開かれ、全校六百の生徒たちの準備運動にトツプを切り五十米、百米、二人三脚、マスゲームなどいづれも平素の練習の功が偲ばれる、見事な出來榮でかくて午前中の運動競技を終り、晝食小憩の後第二部に移りバスケツト、バレー、班別競走さプログラムは順々に進み彌生會員の彌生舞踊では、そのなよやかにしかも輕快な舞踊に一同讃嘆を惜まず、職員競爭リレーには全生徒の聲援すさまじくかくて午後四時過ぎ盛會裡に會を閉ぢた、當日來賓席には森本地方法院長をはじめ大連市内各中等學校長職員など多數列席し、皆熱心に各運動を觀覽した

井上雪子のロマンス

不遇な處女が一躍蒲田の名花と謳はれる迄の情艶史(講談倶樂部十一月號で目下素晴らしい大評判)

滿洲事變映畫會

映畫　關東軍司令部附 滿鐵弘報係撮影 全五巻

講演　本社從軍特派記者　森義夫 五百旗頭佐一

來る十三、四日の兩夜六時半から滿日講堂で開催、場内整理料十錢

主催　滿洲日報社

墻壁に飛込んだ儘 銃を構へて四日間

不寢警戒の苦心を語る藤代巡査

新民府にて 藤井特派員發

北寧鐵路沿線で邦人居住民を有する前哨地點は新民府である、同地には目下壯年男子(四十八名)婦女子を合して總數七十六名の邦人居住民がゐるが、日本領事分館があり又分館建物と向ひ合つて日本電話局がある、これは日露戰爭當時設けられたものがそのまゝ現存し奉天間に我が電話線を有してゐる、事變直後の十九日には敗殘兵の爲めに電話線を切斷され奉天との音信は絶え、一方奉天を追はれた敗殘兵は十九日續々新民府に溢れて來た、秩序を失ひ殺氣立つた幾千を算ふ彼等群衆に取り圍まれた七十餘名の邦人は當時全く生きた心地はなかつた、領事分館といつても土屋書記生たゞ一人と館附警官が二人きりの名だけのもの、到底居住民を保護どころか全く保護から棄られた邦人七十餘名であつた

◇—◇

そこへ二十日午前に至つて五名の警官が奉天より救援のため派遣されたが一臺のモーターカーに乘じて敗兵敗走の中を突ツ切つて乘込んだ彼等は又無鐵砲とも云ふべきものであつた、當時を回想して藤代巡査は語る

鐵道線路に沿つて敗走兵はひきも切らずその中を突つ走るんですが敗走兵の大部隊にぶつつかると我々はカーを線路外にひつくり返して草原に隱れて彼等の通過を見過して又突つ走るんです、途中一度つひに約千五百の大部隊通過の際見つけられたと思つた時はもう駄目だと觀念しました、幸ひ彼等は氣がついたのかつかないのか其のまゝ行つて了ひました、それから夢中でカーを走らして新民府へ辿りつきましたが領事分館に來てみれば邦人全部墻壁を築いた中に避難してゐました我々の姿をみるなり早く「飛び込めッ」と云ふのでいきなり墻壁の中に飛び入り銃を構へて伏せたまゝ四日間夜も寢ず警戒しましたが全く生きた氣持ちはしませんでした

◇—◇

廿二日はじめて我が飛行機が新民府上空に飛來し通信筒を落して行つた時は一同は機翼の赤い日の丸をみて抱き合つて泣いたものだ、最近は居住民も漸くおちついたものゝ元來同地は人口三萬餘を有する新民縣内唯一の大都會であるから馬賊の襲來には始終惱まされてゐる、だから夕方になれば皆から同地方の支那住民は銃を持つて屋根の上にのぼり見張りをし少しでも怪しい影を見れば銃を射つのだ、夜をきまつたやうに數十發の銃聲を聞くが日支事變以後この銃聲が餘る氣になり敗殘兵襲擊があつても見分けがつかぬといふので土屋書記生より王公安局長宛交涉し最近はこの豫防射擊を禁じ若し理由なく銃を射つものは大洋二十圓の罰金に處すと公安局長より布告を出したのでこの頃は市民名物の夕刻の爆竹代りの如き銃聲も聞えない

◇—◇

斯くの如く平常から相當危險なところを今はたゞの馬賊と違ひ敗殘兵も交つて彼等は極端に排日的感情を有つてゐるから何時如何なる襲擊を受けるとも限らず突發的事件に對して邦人は戰々兢々たるものである

訂正●十日々附本紙朝刊新民府に於ける邦人虐殺事件の記事中鐵嶺戶居住鐵城氏とあるは鐵嶺鐵道保線弘賀氏の誤りにつき訂正

六大學リーグ戰 立教捷つ

5A—2 對明大一回戰

【東京十一日發】明立野球第一回戰は十一日午後二時より明大先攻にて開始結局五A對二で立教勝つ閉戰三時五十五分得點は

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
立大	2	0	0	0	0	0	0	3	A	5A

バッテリー明大(田部、八十川小野川)立教(辻、百瀨)

冬營準備に ストーヴ

きのふ着荷

冬季を目前にひかへ我が北滿駐箚軍隊の士氣いよ〳〵旺なるものがあるが長春、吉林、奉天等においては最早冬越えの準備に忙殺されてゐる、十一日入港したはるびん丸で陸軍省陸軍運輸部經由約百五十噸、箇數にして六百個の冬營用ストーヴが運ばれて來たが、北滿寒氣にふるふ我將卒には最もよき送りものであらう

世界野球入場料 百三萬餘弗

【セントルイス十日發】七日間にわたつて行はれたワールドシリーズの入場料總額は百三萬七百廿三弗で左の如く分配する事となつたカ場選手三十二萬三百三弗▲アチ軍へそれ〴〵十五萬六千四百十二弗▲ナショナル、アメリカン兩リーグへそれ〴〵十五萬七千四百十二弗▲顧問へ十五萬四千六百八弗

玉澤支店長結婚

玉澤運動具店大連支店長西川源藏氏は今回目出度く美川美代子孃と婚約なり平田驥一郎氏の媒妁により十九日華燭の典をあげると

安樂椅子

日支衝突事變以來特に神經過敏になつた大連署の寺尾高等主任は毎日軍部並に沿線各警察署から集つて來る情報や部下特務達の提出する報告書を熱心に熟讀し細心の注意を拂ひながらベタリ〳〵とはんこを捺してゐたが最近急にそのはんこのスタンプインキが薄くなつたので

……◇……

御職掌柄〱急に思ひ早速會計係に飛び込み「何うもこの頃のインキは薄いが水を割つてゐるのではないか」と抗議を申込んだところ、若笑の會計先生「ソレは買つた店が水を割つたんだらう」と應酬したので寺尾主任呆れて自席に歸り「店が水を割つて賣るナンてソンナ馬鹿な事はない」といろ〳〵係員達と討議した結果、會計係が經費節減のため一寸機轉をきかしたのだらうと云ふ事に一致

……◇……

滿石の寺尾主任「經費節減も好いがこれまで徹底させなければならないとはナンボ辛いか」

毛皮 各種類 大々的特價提供!

(自十月三日至十月十五日十五日間)

カムチヤツカ狐毛皮襟卷 金十五圓より
シベリヤ狐毛皮襟卷 金六圓より
毛皮ショール各種 金十五圓より
カムチャツカ栗鼠 金四十圓より
アストラカン毛皮外套 金五十圓より
カルカラツク
婦人用毛皮オーバ 金廿五圓より
子供 金十圓より
其の他毛皮製品各種

大連市 シベリヤ商會

本日抽籤の讀賣會當籤番號
第三回第八次 天三三番 地六四番 各組共通
十月十一日
丸三呉服店

實質と經濟合理化の優秀品 是非お試しあれ
富味
品質に於て斷然王座を占領せる新調味料
特約販賣店 裕泰公司 丸一公司

巡査 日本警務學會

井波耳鼻咽喉科醫院 ドクトル・メヂチーネ 井波讓吉 大連沙河口黄金町一〇五 電話九一三四番

産兒制限

頭痛にノーシン

月やく止り人知れず御心配の御婦人方よ!

月経 最新萬國特許 明証御効顕

内科專門 安富醫院 電話八〇五〇番

小兒科專門 今井醫院 電話六〇五〇番

洗染 組合徽章 公認 大連洗染業組合 事務所

◎洗張京染西洋洗濯印入染物 クリーニングの御用命に就て
◎料金の安きに迷ふ勿れ 法外に安き料金は必ず危險を伴ふ◎
◇徽章佩用なき者は組合員ではありません徽章の有無に御注意願ます

白梅便箋 ラスラスと書きよき

清酒澤龜 新荷着 日本各地名産珍物 世界各國酒類食料品 宅の店 大連大山通 電話代表五一九九番

滿日各地版

いと嚴肅に 我將卒の追悼會

撫順表忠碑前で執行 佛教聯合會主催で

【撫順】今回の滿洲事變の痛ましき犧牲者となつた六十餘名の將卒の追悼會は撫順佛教聯合會主催のもとに行はれた、この日參列の主なるものは

川上守備隊長、村上、角田兩中尉以下守備隊側を始め久保次長宮澤庶務課長外各課所長、寺田署長、田中實業協會長、寺西地委議長、福永局長、寺田撫中、植村高女、鈴木補習、米澤新屯各學校長、土生分會長以下在郷軍人等等外三百四十八名

まづ式は各宗侶十數名の讀經に始まり、次で以上守備隊側、炭鑛長、田中實協長、寺田署長の弔詞の燒香禮拜あり

各代表

て十時四十分式を閉づ、因に川上守備隊長の弔詞次の如し

弔詞

昭和六年十月十日佛教聯合會主催の下に追悼會を營むに當り守備隊長川上精一熱涙を捧げて將卒を代表し戰友六十有餘の英靈に告ぐ、夫れ民國の我國に對するや傲慢無禮既に年久しく正義人道を無視し或は破約を敢てし或は同胞婦女を凌辱する等觀るに忍びざるもの日に月に多く、更に武威を輕みて我を脅威し横暴至らざるなし、南滿洲鐵道亦彼の蹂躪する所とならんとせり吾人その任に在るもの極寒暑晝夜警戒以て事無きを希ひて止まざりき、然るに何ぞ圖らん九月十八日夜北大營の官兵は堂々憚る處なく我鐵路を破壞し更に帝國軍隊に向つて攻擊し來る、而も北大營の

敵兵は その數に於て一萬二千を算し兵備最も完く整ひ張作霖並に其子學良の金湯の地となし此を以て中原に覇を唱へ萬人等しく認めて支那最鋭の軍隊となしたる所なり、又長春南嶺の部隊は歩砲兵約一千にして吉林張作相の精鋭を誇れる軍隊なり、奉天守備隊は僅に六百有餘に過ぎずと雖も事茲に至りては何を躊躇するを得べけんや只管神佛の加護と忠勇無二なる諸卒に依頼して彼蠻匪支那軍を擊滅せんことを期し斷然起つて北大營を攻擊せり、其意氣何ぞ壯烈なる、數百の堅固なる兵舍めぐらすに深壕堤、鐵條網を以てし加ふるに咫尺をも辨ぜざる暗夜なり我軍の苦戰實に言語に絕せり、或は窓を越へて敵中に躍り込み或は扉を蹴破つて

突入し 爆殺射殺刺殺上下相離れ戰友相失ふも更に臆する事なく縱横無碍に驅け廻り敵血を啜つて渴を醫し敵砲を奪つて門を破り東天正に白まんとする時戰最も酣なり、此の報一度び傳はるや各地の精鋭なる帝國軍隊は附近支那軍閥を膺懲せんとして決然起ちたり、殊に長春部隊は精鋭吉林部隊の據れる南嶺を攻擊せり、敵亦頑强に交戰力め死屍累々凄慘を極めしも遂に我軍の占領する處となれり共に寡兵以て衆敵を擊絕す、而も北大營戰鬪は東西古今戰ひ多しと雖も僅に六百餘名を以つて一萬二千の敵を屠りし例未だ曾て有らず只多くの戰友を喪ひたるは惜みても猶足らざる處なり、然れども人生誰か死なからん、況んや軍人たるもの戰場に斃れて國難を救ふ本懷と謂ふべきなり、今や戰將に熄まんとするも

滿蒙の 天地は更に幾多の波瀾を蘊釀す、希くは陣歿各勇士よ七度生れ來て以て國家を保護せんことを茲に守備隊長は熱涙以て合掌再拜此詞を亡き戰友の英靈に捧ぐ希くば喫せよ

昭和六年十月十日

南滿洲撫順守備隊長川上精一

遼陽の戰死者 追悼會嚴か

白塔公園で執行さる

◇—參列者千數百名に達す

【遼陽】滿洲事變の戰死者追悼會は既報の如く十日午後二時から遼陽白塔公園グラウンドに於て神佛兩式で執行、定刻一同着席するや神式祭典から始まり次で佛式で關屋委員長、山崎領事細矢在郷軍人分會長、生田地方委員議長の弔辭多門第二師團長、天野旅團長、濱本第十六聯隊長、上田守備第六大隊長、塚本關東長官、內田滿鐵總裁、中谷警務局長の弔電朗讀あり各代表者玉串奉献、燒香ありて午後三時十五分閉式、當日は內田滿鐵總裁、塚本長官、多門第二師團長、天野旅團長を初め軍部各町內滿鐵地方各機關團體からの供進せる花環、生花三十餘對の多きに達し參列者もまた千數百人の多數であつた

祭典委員長弔辭

滿洲事變に戰歿せられたる皇軍將士の英靈を迎へ追悼會を行ふに當り謹みて忠魂毅魄に告ぐ回顧すれば輓近滿蒙の天地は危機を孕み急を告げ遂に這次の事變の勃發を見るに至れる極東の平和を希ふ我帝國の痛恨措く能はざる處なり

此秋に當り忠勇なる諸士は我國權の確保と東洋平和維持の爲めに更に正義人道擁護の上より奮戰擊鬪遂に殉難せらる悲壯室に極れりと謂ふべし然れ共諸士の武勳は赫々として萬古に輝き英靈は護國の神と化して正義の楯和平の礎となり永く極東の禍根を絕つものなることを信ず

我等は諸士の殉國に感奮興起し威風の跡を遂ふて天業恢弘の途に猛進せんことを誓ふ庶幾くは雄魂永へに此の地に止まり同胞の上に加護を賜らんことを

嗚呼巫庶大招を唱へて富庭黯然

遼陽における戰死者追悼會

軍隊慰問へ 旅順出發

マラソンの土倉節夫君

【旅順】大連廣島縣人會後援の下に單身マラソンにて出動軍隊慰問を行ふ土倉節夫君は十日午前中各方面を歷訪のうへ、同日午前十時三十分關東軍司令部前をスタートして部員及び關東廳員多數の盛大なる拍手見送り裡に出發したが、旅順よりはその行を盛んにする爲め積、浦田、宮崎、中村、越智の諸君がユニホーム姿凛々しく水師營まで見送りを爲した【寫眞はスタート前の土倉君】

旅順第一小學校

創立廿五周年記念式 頗る盛大に擧行さる

四十九日振りに 小林氏歸る

十日營口にて引渡式

【營口】營口占領翌日即ち九月二十日岩田大隊長は營口縣知事楊晉源を牛莊領事館內大隊本部に召致し左記宣言を爲した

去る八月二十二日馬賊の爲に奪はれたる海城在留日本人小林善人の搜索奪回に就て日本官憲の行動を貴下が甚だしく妨害して事件の調査を困難ならしめたる行き掛りについて本職は能く之を承知す、即ち小林善人を今日迄奪還し得ざりし主要なる原因は貴下の妨害の爲にして本件に關する貴下の責任は誠に重大なりと云ふべし、就ては貴下は十月十日午後十二時迄に小林を馬賊より奪回し本職に引渡すべし若し之に應ぜざる時或は指定の期日に遲れたる時は本職は遺憾ながら

滿鐵沿線破壞の 陰謀文書を發見

撫順製紙會社に於て

【撫順】今回の日支事變を捲き起した支那側の計畫的陰謀を雄辯に語る重要書類が十日端しなくも撫順に於て發見された、右は撫順製紙株式會社が時局突發直前奉天講武學堂より製紙の原料として屑紙五千斤を買入れた事を聞知したる憲兵隊が同社倉庫に急行綿密調査の結果、果然彼の滿鐵線破壞の計畫的企てであつた事を確證する文書しその他重要文書紙片等及び極端なる排日文書紙片が發見されたのである

救濟の支那窮民

實に廿萬九千八百餘名

【奉天】時局以來省城內外は食ふに食ふものなく寢るに寢る所なく生活苦のドン底にある支那人に對し奉天市政公所では紅卍字會、基督教聯盟、龍華義賑、日華佛教聯合、紅十字會の各公共團體と共に鋭意之が救濟に努力してゐたが、去月廿六日から本月十日までに救濟した貧民の數は實に廿萬九千八百廿人に達し一日平均一萬四千人の多數に上つてゐる尚救濟者の大部分は兵工廠三家子等であると

金塊引揚げ 作業順調

早や奉天に 初氷

例年よりも一日早い

地方維持會 近く解散

省城數ケ所 に施療所

米調査員の 滿洲再派遣

誤電と入電

旅順高女生 淨化作業

日夜警察官の活動に感激

鄉軍北大營の 戰跡見學

馬賊三勝の一 團解散

遼陽の支那側 要人家族避難

奉天

漢字紙休刊 双十節で三日間

旅順

旅順蟄居の 張宗昌將軍

沿線往來

御めでた

黃金臺

曙の鐘 (76)

倉田潮 / 河野想多畫

大都會の暗黑面（六）

新刊紹介

大連 JQAK 十月十二日

滿洲日報 夕刊 十月十一日

占據地接收に關する 國民政府の要求

國際聯盟事務總長より 其內容を加盟國へ通達

【東京特電十一日發】國際聯盟事務總長ドラモンド氏は支那代表施肇基氏の要求に基き國民政府より聯盟に對する左の電報を聯盟加盟國全部に傳達した

聯盟事務總長は支那政府の要求で十月九日附下記電報を通達する、支那政府は日本軍隊撤退後各地接收委員として張作相、王樹常兩氏を任命、日本政府に現地の各陸軍司令官に占領地の引渡しを訓電すべきやう要請した、然るに今日まで何等回答に接せず依て支那公使に左記第二次通牒を手交訓令した

九月卅日の聯盟理事會決議履行のため十八日以來日本軍の占領せる各地方を即時支那當局に引渡すべき事を必要とす、支那政府は日本軍の撤退における日本國民の生命財產の安全並に地方支那官憲及び警察力の再建に對する責任を持つべきを誓約した、依つて十月六日日本政府に支那側接收代表の任命通告と同時に日本政府に對し、理事會に與へた誓約に依り支那軍隊が占領地帶を接收し居住日本人の生命財產を保護すべきやう即時取極めを行ふべき事を要請した、爾來回答に接せず且事件は極度に緊急を要するを以て本公使は以下の要求を爲すべき訓令を受けた

一、日本政府は直ちに占領各地が來週中に接收さるべきを明示すること

二、本日中に現地各陸軍司令官に對し訓令を發し接收が明日より開始されるやう手配すること

以上の通牒の寫しは各理事國に送達され同時に日々の事態の進行報告はジユネーヴ及びワシントンに打電されるであらう

聯盟理事會に對する 我が芳澤代表の通牒

【ゼネバ十日發】芳澤代表は十日聯盟理事會に對し左の如く通牒した、全支の排日は遂に對日經濟絕交斷行となりつゝあるので日本は支那に對し支那が排日運動を鎭壓し日本人の生命財產を充分保證し得ざる事其の損害に對しては全部支那が責任を負ふべきものなる事を通牒せり、尙同時に滿洲に於ける日軍の行動は正當防衛なる事を支那に通牒せり

帝國の眞意を 再び聲明せん

中外の諒解と支那の反省を促す 十二、三日頃決定

【東京十一日發】滿洲事變に關し支那は誇大の宣傳を以て第三國の同情を煽らんと試み第三國又實狀を解せざるため帝國政府の眞意を誤解し何等か調停的行動に出でんとして居るので帝國政府は此の際支那政府の反省を促すと共に列國の誤解を一掃するため十二、三日の閣議に諮つた上左の趣旨の聲明を中外に發表する事となつた

帝國政府は滿洲事變を遺憾とし今後日支兩國に斯くの如き不祥事件の勃發する事を絕對的に防止するため此の機に於いて日支兩國間に蟠れる日支國交上の禍根を一掃せん事を衷心希望するものである、而して帝國政府は右諸懸案の解決に當つて中國政府は日本國が明治三十八年日淸滿洲善後條約以來の日支諸條約によつて中國より取得せる諸權益殊に滿蒙の地における諸既得權益の確認及び履行を求めんとするものであつて決して不當不法なる要求をあらたに中國政府に向つて提起せんとするものではなく、中國政府にして帝國政府の兩國利益の增進を企及する衷情を理解し誠意を以て帝國政府との折衝を應諾するならば一切の禍は圓滿に解決さるべきものなる事を帝國政府は確信するものである

張作相氏 錦州へ 各軍を收拾せん

【北平十日發】張作相氏は今明日中に北平發錦州に赴き關外在留東北軍の善後處置にあたり今後日本軍との衝突發生なき樣各軍收拾の任にあたるべしと

示威行列 双十節の漢口 氣勢擧らぬ

【漢口十日發】本日双十節を期し武漢抗日救國會主催の反日示威行列は武漢行營で嚴禁し又軍官學校學生は禁止を命ぜられたので折柄雨降りではあり反日氣勢更にあがらず僅かに日貨檢查隊員が橫行する位で市中は靜かであつた

寫眞說明

新民屯驛に殺到した支那人避難民（下）魏縣長と藤井本社特派員（上）

解決を焦慮る 張學良氏の近狀

この儘では持ち耐えられまい けふ來連の 柴山顧問語る

錦州に兵を集中し一戰を交へるとか豪語し或は時局收拾不可能に總てをなげうちパリーに逃避する等々の流言渦卷く中にあつていらだゝしい日を送つてゐる張學良氏にとつて生命綱の如く思はれてゐる顧問柴山金四郞少佐は十一日早朝入港天潮丸にて赴奉の途來連した、同顧問の去就行動の裏面には一說によると學良氏より特殊の要務を秘かに托されてゐるといはれ又は斷然學良氏と手を切つて來たものと云はれ今や時局の潮流とともに頗る注目されてゐる、甲板上剌を通じると語る

學良氏は今度の事變に對しては最初のうちこそ呆然手の下し樣もないと云ふ有樣だつたが最近になつては南支方面と連絡をとりこれが善後策に大童で順承王府で顧維鈞、湯爾和、萬福麟氏等と一生懸命だ、從つてゴルフや麻雀どころではないよ、今度の事變によつて學良自身の立場がよく了解された事と思ふ、それに一方南方との連絡を

さると共に馮、閻等とも手を握らうとし從來の如き馮、閻との間の敵同志的なところが幾多緩和された樣だ、自分は別に本庄軍司令官からの招電で行くと云ふのではなく同時に學良氏から何か密令を帶びて急行するといふのでもなく奉天行は全く豫定の行動なのだ、本庄軍司令官の學良氏に對する聲明書はたしかに應えたらしい、しかし軍をまとめて決戰を交へるなんて事は考へられないし自分はそんな事實を知らない、とにかく學良氏が今一番困つてゐるのは約十萬近くの兵を持つてゐるがこれをどんな方法でこれから維持して行くかと云ふ事で既にもう一ケ月或ひは二ケ月より持ち支へ得まいと流言が漲つてゐる始末で學良氏は早く解決したいと焦つてゐるのもこの邊にも原因が伏在してゐると思ふ、目下平津地方は頗る平靜で極力彈壓を加へ反日を抑制してゐるそれ丈けにもし緩みでも出たら反動が恐ろしいと支那人の國民性を知つてゐるものは話合つてゐる、學良氏にして見れば時局收拾が思ふやうにいかなかつたら外遊の意は思あるやうでもし外遊するとしたらフランスだらうとは想像されてる、いづれにしても何とかして學良氏の手で解決策が講じたいと焦つてゐるのは事實でこの間南京政府が裏面に動きかけてゐることも否まれない、一說によると張作相にすべてを一任すると樣な事を聞いたが確かなことは知らない、又滿洲の獨立政府に對しては表面的には案外冷靜であつた、自分は早く奉天に行かねばならぬ用事がある、無論軍部とは色々打合せ必要があるが內容は今お話の限りでない、自分はまだ顧問と云ふ肩書で居る、まあ奉天に行つた上で或ひは今一度北平に歸らねばならぬ樣になるか或ひはそのまゝ奉天に滯留するか內地に歸還するか判然としてゐない

上陸と共に同船にて今回奉天總領事館附を命ぜられた領事法華津孝太氏と共に午前十時半列車にて北上した【寫眞は柴山顧問】

漢水方面の 共產軍 各地に襲擊す

【漢口十日發】漢水上流に於て共產軍賀龍、段德正軍合流し其の一隊は去る七日來岳家口で第四十八師の一團を包圍中で他の一隊は天門にて新編獨立第三十旅を擊破し旅長徐德佐は戰死し團長營長ら多數戰死者を出し部隊全部共產軍の捕虜となつた、又安徽の省境英山にあつた曠繼勳の共產第六軍は西進して平漢線信陽に迫り同地は危急を告げてゐる共產軍の武漢襲擊に關する連絡最近に至り完成した

出淵大使 スチ氏訪問 錦州事件を說明

【ワシントン十日發】出淵大使は十日スチムソン氏を訪ひ左の如く述べて諒解を求めた

錦州事件は軍事上局部的事件と見るもので其の結果は遺憾に堪へぬが日本政府の承認した行動ではない

國際聯盟の 干涉を排す

在滿日本人時局後援會成り 決議文を打電す

大內市會議長、村井商工會議所會頭、岩井在鄕軍人會長、寶、大連新聞社長、松山滿洲日報社長等發起の滿洲時局に關する相談會は小澤、恩田、井上氏等の相談會と合流して市內言論會、經濟關係方面市議員、各區長、各組合長始め百二十名の市內有力者を集め十一日午前九時より市役所議事室に於て開催されたが、大內市會議長、本相談會の座長に推され、十一時まで事局に關する討議をなし、二十分間休憩、この間に發起人數氏のみの小會を開き、會名、委員等の協議をなし、十一時二十分より再會、大內座長は協議決定事項を全部にはかり、同會を「在滿日本人時局後援會」と命名し、當日出席者全部を同會委員となし、更に實行委員六十名を座長指名で決定することゝ並に同會事務所を當分市役所內に置くこと等を決議した、尙澤村善吉氏の動議に依り本日集會の事業として、十三日開催の國際聯盟理事會に關し在滿邦人の總意を發表すべく、座長以下六名の委員を擧げ左の如き電文を各方面へ打電した、卽ちヂユネーブの國際聯盟事務局へ對しては

在滿日本人時局後援會は國際聯盟が時局の重大性に鑑みその原因並びに經過によりて日本の眞意を諒解し、みだりに干涉せざることを希望す

又首相始め內外陸海相、軍司令官、林總領事、關東長官、滿鐵總裁に發した電文は左の如し

在滿日本人時局後援會は滿洲時局に對する國際聯盟若しくは第三國の不當なる干涉を排除し此機會に於て滿蒙問題の根本解決を期す

米春霖氏錦州 被害報告

【北平十一日發】我軍飛行機の錦州爆擊の際身を以て逃れた遼寧省政府主席代理米春霖氏は本日午後三時着平張學良氏に被害狀況一切を報告した

常磐艦 上海到着 陸戰隊上陸す

【上海十日發】南支方面の形勢惡化のため八日夜佐世保軍港より出動した軍艦常磐は本日午後四時四十分當地に投錨森少佐の指揮の陸戰隊四百名は今夜中に上陸する事となつた

公利號劉珍年 軍に徵發さる

十一日早朝芝罘より入港せる利通號のもたらすところによると政記公司所有公利號は十日劉珍年軍のため徵發されたが理由は不明なるも目下同船は龍口に向けしきりに手布樣のもの並に小du...を積み込んでゐるがこれにより同地の人心は些か不安にかられてゐる

陸相と外相が 與黨首腦部招待

國論統一に就き懇談

【東京十一日發】對支問題の重大化に伴ひ政府としては國論を統一して進む事が最肝要であるので南陸相は近く與黨の首腦部を招待して軍部の意向を傳へ種々諒解を求むる事となつて居るがつゞいて幣原外相も與黨側の諒解を求むる意向であると

內相與黨四氏 と協議

【東京十一日發】對支問題に關し安達內相、頼母木、永井、中野、山道の五氏は十日午後內相官邸にて協議の結果與黨としては問題解決に強硬態度を執ることに意見一致したるも與黨の立場として明かに出すことは暫く見合せることゝなつた尙二十日過ぎ閣僚との懇談會を開き對支問題その他につき協議することゝなつた

超黨的態度で 時局問題の協議

貴族院各派の動き

【東京十一日發】國家內外重大時局に直面し貴族院各派は十日午後二時から華族會館に會合を催し研究、公正、交友、火曜、同和の各派より五十餘名出席一條公を座長に推し一條、前田、東園、藤村、福原、池田、阪本、三井、勝田、水野、山岡氏らより財界對支問題等につき痛烈なる意味の意見が開陳あつたが要するに無力なる現內閣を以てしては內外重大時局に處し國策をあやまるの重大なる結果を招來する恐れありよつて貴院としては超黨派的見地より國論喚起國策をあやまらしめざる樣具體的對策を講ずべきであるとの見解に一致したので次回に井上、幣原兩相の出席を求め質問する事となり同六時散會したが今後の成行により各派有志の名において強硬な決議又は申合せをなし貴院の態度を表明する事となるであらうとして政局不安の折柄頗る注目されてゐる

正副總裁上京と 經濟的對策

時局問題と關聯して重視さる

滿鐵正副總裁の上京に關して兩者の內一人は在社する方が好いとか或は又社務上差支へすやなどいふ世評もあるが、これに對し正副總裁今次の上京要務と其消息に通ぜる者は今回正副總裁が共に上京することに深甚の意義があるといつてゐる、卽ち滿鐵の任務が重大なるは頗る簡單だが所謂特殊使命が時局のために非常に重要性を加へて來たことは言を俟たぬので特に其經濟的使命に重大なる任務が懸つてゐる、此事に就ては曩に副總裁は北京出張の時に又總裁は上京の途次に……の事變後の一般の情勢に對して軍部は勿論外交關係方面とも十分に諒解を遂げてゐるので要するに國策上中央要路と遺算なき協議を行ふ必要があり外交問題と經濟案件とが聯關してゐるので揃てこそ同行上京に決した譯であると、而して當面の經濟問題から進んで直に發生すべき經濟對策に就ては頗る緊要の案件があるので外交と經濟との交錯狀態は既往の懸案と現在及び將來の對策上此際基幹的の審議を加へればならぬ急務がある、夫れには是非共副總裁の上京に依りて實情に基き實際に卽したる方策を詮議する急要を生じたのは言ふ迄もない、故に正副總裁今次の上京は勿論社務上の案件もあり豫算の如きも當要ではあるが更に一步を進めて時局に對する國策上の根本意識が動いてゐることを知るべく十河、首藤兩理事等が奉天への往復頻々たるに見るも滿鐵の對……

內田總裁京城 を出發

【京城特電十一日發】十日入城內田滿鐵總裁は十一日午前十時京城驛發東上の途についた

人 事

▲柴山金四郞氏（張學良氏顧問）十一日入港天潮丸にて來連
▲小柳司氣太氏（文學博士）同上
▲法華津孝太氏（奉天領事）同上
▲小川敬次郞氏（北海道帝大教授）十一日入港はるびん丸にて來連
▲大島錆高氏 同上
▲大坪正氏（滿鐵旅館事務所長）同上
▲荒木東一郞氏（滿鐵囑託）同上
▲赤澤琢三氏（奉天醫大教授）同上
▲粉倉作助氏（上海支那海關吏）同上
▲吉益匡賢氏（日本柑橘中華民國輸出組合理事長）同上
▲防野幾之助氏（同理事）同上
▲高橋粂一氏（同技師）同上

蛇 角

馮庸氏 來連す 夫人と共に滯在

奉天馮庸大學校長馮庸氏（三〇）は過般の日支事變後我が軍のため去る廿二日より本月三日まで奉天附屬地飽貫臣邸宅に監視中の身であつたが日本側の運動關係者その他の諒解運動によつて漸く釋放されたので同氏は六日午前八時着列車にて同校教授部絡宗（三〇）同庶務係員江樂山（三〇）の兩名を伴ひ來連し目下星ケ浦ヤマトホテルに滯在中であるが同氏夫人も十一日入港の天潮丸で來連したので當分時局安定まで歸奉しないと

府縣議の分野

【東京十一日發】全府縣會議員當選者十日迄の各派別左の如し

民政	七五九	同系	一八
政友	六〇六	同系	一六
社民	一三	地方無產	三
全勞大	一二	同系	一
中立其他	四〇	計	一、四四八

東亞の謎 (107)

國枝史郞 挿畫 伊藤順三

沙漠の古城（一）

新築中の羽衣女學校崩壞 卅數名が壓死、生埋め

駈つけた家族連で凄慘を極むる現場

けふ大連未曾有の大慘事

十一日午前十一時四十分市内伏見臺工專前に今井組の手で新築中の大連語學校羽衣女學校(岡内半藏氏經營)の大建築物が俄然大音響と共に崩壞し二三階で作業中の苦力約二十數名は煉瓦の崩落と諸共に土煙に卷かれて無殘生埋めとなり地上で作業中の苦力約十名は全く壓死するの大連未曾有の慘事が惹起した現場には所轄三浦小崗子署長以下急行、市中の苦力を狩り集めて生埋め苦力の救出に努めてゐるが何分崩壞した煉瓦、土塊、セメント等が山をなし救助意の如くならず**午後一時までに僅か十一名を救出したがうち二名は壓死、九名は重傷**で未だ埋沒中の約二十名の安否を氣遣はれてゐる、現場に駈けつけた家族達の泣き叫ぶ聲に凄慘の極みを呈してゐる

さながら生地獄

壓死者十數名に達せん

崩壞を免れた校舍二棟も危險

崩壞現場は目も當てられぬ凄慘を呈し、小崗子署員、消防隊及び市内から狩り集めた苦力の手で生埋となつた苦力の救助に努めてゐるが**掘返された土瓦の中から斷末魔の唸きを發する者、鮮血に染まつた手を上げて助けを求むる者、二目と見られぬ悲慘な姿となつて引揚げられるもの泣き叫びつゝ同輩の死體を掘り出してゐる苦力等さながらこの世の生地獄を現出してゐる**、救出された重傷者は取敢ず現場に出張の赤十字醫員及び看護婦の手でカンフル注射その他應急手當が加へられ、消防赤自動車で、赤十字醫院に收容中である、急を聞いて駈つけた家族達は、我子の變り果た痛々しい姿に、夫の安否を氣遣ふて只泣き叫びつゝ右往左往するのみ、午後一時までに死者二名、重傷者九名の救出を見たが**壓死者はおそらく十餘名に達するものと見られてゐる**なほ崩壞を脱れ殘骸の如くそびえ立つてゐる校舍二棟も工事不完全からか、弓なりに曲り、頗る危險な狀態にあるので丸太で支へるなど應急措置が講ぜられたが、いつ崩壞するとも計られない危險狀態で第七の不祥事を氣遣はれてゐるなほ生埋になつたもののうちに二、三名の日本人もある模樣である

慘澹たる羽衣女學校崩壞の現場 (下)×印のところに苦力多數生埋めとなる

煉瓦積に欠陷か

設計監督の宗像氏談

同校の設計監督者である宗像氏は語る

私も崩壞後現場よりの急報で今駈けつけたばかりで崩壞當時現場に居合はさなかつたため何處から崩壞しかけたかは見て居らないので原因については今のところハッキリ判りませんがこの工事は起工が七月十日、竣工は十一月十五日まで、アト二十日位の餘裕があればよかつたのですがあまり工事を取り急いだので多少無理をしたため下部の方の煉瓦積みに缺陷があつたのだらうと思ひます、何れ再檢査した上でないと確かなことは申しあげられません

不正が潜むか

大々的檢證行はる

慘事發生と同時に池内檢察官、三浦小崗子署長、石井大連署長以下建築技術者立會の下に大々的檢證が行はれてゐるが、崩壞個所は同建築物の東南校舍(教員室、教室事務室)二棟二百坪、崩壞原因に就き專門家の觀測では横煉瓦のセメント及び壁土が乾燥してゐないのに地下設計にゆるみを生じ屋上の重量に耐えず俄然崩壞したものと見られてゐるが、司法當局では同建築は今井組の手で第一期工事六萬圓で七月八日着工、十一月十五日までに竣工の豫定であつた爲め今井組では晝夜兼行工事を急いだもので工事監督上不行屆きの點がないものと見てゐる殊に崩壞せる煉瓦に附着せるセメントを點檢するに少しも粘着力なく砂の如くボロ〳〵と落ちる原料を使用してゐる事實あり、不正工事の譏りは免れぬ模樣で、結局刑事々件として司法當局の活動となるべく見られてゐるが、工事責任者今井行平氏は目下奉天に旅行中であるので同氏の歸連を待ち工事監督者春山繁二、土木技術者青木用兩氏等と共に取調べることゝなつた

崩壞の第一原因

工事を急いだ點にある

小黒土建協會常務理事の話

羽衣高女校舍崩壞の現場を視察中の土建協會常務理事小黒隆太郎氏は語る

崩壞の第一原因は工事を急いだ點にあると思はれます、成る壁厚も薄くモルタルも少なくセメントもすつかり密着してゐない樣ですがこれはこの建築にはこれ位といふ設計によつて造られてゐるわけで今度のやうに工事を無理をしても急がなければならぬ場合はこれらの材料をそれ〴〵適宜に配して造ればよいのでその邊のことは工事監督の指揮に從つて工事請負業者が適宜にやらなければならぬので使用書通りになつてゐなかつたとすれば請負者側の不正と云はれますがこれは設計監督者の方で適當に請負人側のサバを讀むことを豫期して加算する習慣ですからこの點についてはすが若し材料が少なくそれが爲に崩壞したとすれば少なくとも壁に龜裂が入つてゐなくてはなりませんがそれがありません、この點から觀察して崩壞原因は矢張モルタルが乾かずセメントが密着せず從つて積上げた煉瓦がすつかり固く丈夫になつてゐないうちに無理をして上へ上へと上層建築を急いだ關係だと云へませう、セメントやモルタルの使用量が後程皆が立會ひの上で材料を調査して見て果して不正があつたかどうだかを決定しなくてはなりません

魚行商の自殺

市内嶺明街三五番地魚行商人劉德方(三)は十一日午後三時阿片を嚥下自殺を遂げた、同人は魚を行商してコツ〳〵蓄へた小洋錢約五十圓を惡友に誘はれて賭博に費消し悲觀の結果らしい

十一月下旬には開校の筈だつた

弱り目に祟り目です

―岡内校長は語る

急報によつて現場に駈つけた同校々長岡内半藏氏は學校理事古瀬治八氏その他森本地方法院長等同校後援者と早速善後策を講ずると共に續々押しかけて來る見舞客に取りまかれながら語る

火災に引き續く校舍崩壞で全くの御難續き、弱り目に祟り目です、先日漸く上棟式を行つたばかりで十一月十五日には工事竣工のうへ下旬には現在授業中の燒跡バラックより移轉すべく準備中であつたのにこの騷ぎで移轉も當分出來なくなりました、何れ建物も未だ今井組の方にあつて私の方には關係なく原因等については土建協會その他專門家によつて調査せられることでせう

最初から打擊振ひ カ軍雪辱成る

4-2

世界野球選手權の最後戰 ア軍の力鬪も空し

【東京特電十一日發】スポーツマンスパーク球場十日發電によれば本年度世界野球選手權の歸趨を決すべき十日の決勝戰に引續き當スポーツマンスパークでアスレチックス對カーヂナルス第七回戰は開始された、この一戰こそア軍三年連勝の榮冠成るかカーヂナルス第二年連敗を雪辱するかといふ大事な試合のこととてア軍はアーンショーを、カ軍はグライムスをプレートに起てゝ兩軍死力を盡し戰つたがカ軍は最初よりアーンショーの球を打ち遂に四對二でカ軍は二年連敗の雪辱を遂げた、斯くてア軍の三年連勝の望みは水泡に歸した譯である

	得點	安打	過失
カ軍	四	五	〇
ア軍	二	七	一

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
ア軍	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
カ軍	2	0	2	0	0	0	0	0		4

天氣豫報

(十二日) 南西の風晴一時曇

各地溫度

	十一日午後十一時	最高
大連	一三・〇	二一・六
旅順	一五・六	二一・九
營口	一三・三	二三・九
奉天	一二・五	二二・五
長春	一二・三	二二・六

古強者勇躍

實滿對抗の硬球試合

好天氣に盛況

本社主催、本社々長盃爭覇の大連實業對大連滿鐵のヴエタラン對抗硬球試合は十一日午前九時三十分より彌生町三井物產コートに於て擧行、この一絶好のテニス日和で兩軍古強者覇權目指して必死の戰ひに觀衆は終始手に汗を握る

飯河(ホ)對隱岐(滿)川野(三井)對田中(滿)小笠原(國際)對三浦(滿)渡邊(三井)對阿部(滿)等いづれもセットオールで接戰を續けたがシングルでは四對一で滿鐵軍優勢を示し午後よりダブルスを開始することゝなつた

實業 滿鐵

シングルス

吉富(國際) 6―1 6―4 江夏(消費)

江夏日頃確實なフオアーストロークは少しも當りを見せざるに反し吉富はチヨツプを用ひ確實なるフオアーとバックハンドストロークを用ひて樂なゲームをなしたり蓋し吉富の一人試合の感あり

金原(三井) 2―6 1―6 木春(ホテル)

川野(三井) 2―6 6―4 4―6 田中(鐵道部)

川野は確實なフオアーハンドストロークを用ひて田中のフオアーを攻めしも田中得意のバックハンドストロークを用ひてサイドコーナーを攻擊第一セットは樂にゲームを得しも第二セットは田中のミス多く川野は第一セットとは別の作戰により待球主義を以つてゲームを得第三セットは田中又作戰を變へて自重し一歩一歩ポイントを得最後に得意のバックハンドストロークを以つてサイドコーナーを突き止めを刺す

飯河(市中) 2―6 7―5 1―6 隱岐(消費)

第一セット隱岐のサーブに始り得意のフオードライズを以て難なくフオストセットをリード第二セット後老將飯河作戰を變更し隱岐のフオアーバックを巧みにショットしたるも隱岐も亦之れに對戰し相互に一ゲーム宛をリードし最後の第二ゲームは飯河の頑張りに依り粘り勝ち第三セット第一回目のゲームを飯河奪ひたるも隱岐は最初より緊迫を續け5―1とリードせる時平常よりマッチポイント強き飯河頑張り一ゲームを挽回し6―2で終る

小笠原(國際) 3―6 8―6 1―6 三浦(商事部)

小笠原のループドライブに三浦のフオアーさつぱり當りを見せず最初の三ゲームをリードされたるも漸次三浦當り初め一セットを得、續く二セットは互に押しつ押されつシーソーゲームを續け遂にセットオール、氣分を一變した三浦は小笠原のループを巧みに打ちこなし滿鐵ポイントす

渡邊(三井) 6―3 5―7 1―6 阿部(鐵道部)

阿部練習不足の結果當りを見せず渡邊容易に一セットを得二セット目渡邊4―1とリード後阿部漸く當りを見せ5―5に漕ぎ付け遂に7―5の接戰で二セット目を終り後阿部、フオワーハンド、ストロークさへ6―1で三セット目を得て勝つ

未だ耳に殘る

斷末魔の悲鳴

目擊者黒木君の話

校舍倒壞の際現場を通りかゝつた便達社使用人黒木君は語る

恰度自動車を運轉し工專前の道路に差しかゝつた時でした、突然建築中の羽衣女學校の中央校舍の三階でバリ、バリ〳〵と爆發するやうな音響がしたかと思ふと三階建の煉瓦が一ぜいに崩れはじめ一部は地鳴りと共に地上に落ち、大部分は地下室へメリ込んでしまひましたがそれと間髪を容れず地下室から數十人の鋭どい悲鳴と斷末魔の叫び聲が聞えました、崩れた建物からは飴ン棒のやうにヒン曲つた鐵筋やそれにブラ下つてあぶなく落ちかゝつてゐるコンクリートの大きな壁が慘澹たる姿をしてゐました、僕は咄嗟の間に紅葉町の交番へ車を飛ばして急を告げたのですが地下室でうめいてゐる斷末魔の悲鳴がマダ耳の底にこびりついてゐて離れません

暗流阿修羅館 (212)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

月夜の夢 (四)

六疊の部屋、四方がぴつちり閉め切つてある。

そこに二人の女が對ひ合つて坐つてゐる。二人共同年配である。が、一人の女は紫の布で目隠しがしてある。一人の女は目隠しはしてない。二人共非常な美人である。

目隠しされてゐる女は、ついさつきまで泣いてゐた。身も世もあらず泣いてゐた。

が、そこへもう一人の女が出ていろいろとなだめて、やつと落着いたのであつた。

「ちつとも怖いことはないのです あの人はそれはそれは優しいのです」

目隠しの女は泣きやんではゐたが、それでも、まだ、時々肩をふるはしてゐた。

「それでは、何故、こゝに連れて來たのだらうとお思ひでせうが、たゞ伺ひたいことがあつたのです」

「……」

「あの家では、おきゝすることが出來なかつたので、あの人が、こゝにお連れしたのです。別に危害を加へることはしないのです。たゞ聞くだけ聞いたら無事におくりかへしてあげます。安心して下さい」

「何がきゝたいのでございます」

目隠しの女は、はじめて物を云つた。

「これからきゝますから、どうぞ何もかも本當のことを云つて下さい。少しでもうそがあるとおかへしすることが出來なくなりますから」

「私の知つてゐることなれば、何もかも申しあげます」

「それでは、おきゝしますが、あなたは何時から田沼の殿樣のおそばにおつかへになつたのです」

「一昨年の冬のはじめからです」

「どういふところから、殿樣に見出されたのです」

「佐野治郎左衛門殿の妾女の縁でございます」

「すると、あなたから見ると、田沼の殿は、敵に當るのではありませんか」

と云つたまゝ目隠しの女は、しばらく默つてしまつた。

「深いわけがおありの御容子ですが……」

「……」

「決して他言はいたしません、また、あなたで、果しかねるのでしたら、及ばずながら、私なり、あの人なりがお力になつてあげませう。さきほどの誓ひごとの通り、何もかも隠すところなく打あけて下さい」

「こればかりは……」

「それでは、私が、あなたに代つて申して見ませうか」

「……」

目隠しの女は、目隠しの下から對手の女の容子を見つめてゐるかのやうに、ぢつと顔をあげた。布の下の頬は蒼ざめて見えた。

「田沼の殿は、一も二もなく、あなたの美しさに迷ひこんで、あなたを無理矢理に連れて來たのでせう。あなたは、地獄に墮ちるよりも辛かつた。田沼に隨ふ位なら、いつそいつそ死んでしまひたい、と、一度は死を覺悟なすつたのでせう」

「……」

目隠しの女の頬は、ますます蒼ざめて來た。そして、その頬はピクピクと痙攣さへ見せてゐた。

「が、いま死んでは、たゞ犬死になる……」

一方の女は話しつゞけた。

「生きてゐて、死んでしまつたつもりで、生きてゐて、死んだ氣になつて、身をすてゝかゝつて、それから……と考へ直したのでせう」

噂話

里見義郎解説で大いに氣勢をあげる筈だつた京城の「モロッコ」は初日早々發聲映寫機の故障から發聲せず飛んだ騒ぎとなつたので▲大日活の「モロッコ」上映もパラマウント社が大事をとつてモウション發聲映寫機のテストを更に充分やつた後▲技師から責任ある報告を受けなければプリントを發送せぬといふ用心振りであるから▲いよいよ「モロッコ」が大日活上映に決定すればその發聲効果は信用して樂しめる事だらうと期待されてゐる

好評盛況で 更に二日間日延

來る十四日まで上映 「嗚呼中村大尉」映畫會

本社主催の大日活に於ける滿洲事變映畫「嗚呼中村大尉」はいよいよ好評を博し初日以來滿員の盛況を呈しつゝあるが、昨十日の土曜日夜間の如きは午後七時早くも木戸止めの大盛況で、入場をお斷りした氣の毒な來會者も相當あつたから、今日(十一日)は滿員にならぬうちなるべく早く來場されたい、なほ會期は最初八日から來る十二日まで五日間の豫定であつたが、大入滿員つゞきで到底豫定の日數では收容し切れぬので更に十三、四日と二日間會期を延期することに決定した

掏摸の家(市川右太衛門主演、十二日から常盤館上映)

『嗚呼中村大尉』映畫會

八日から七日間大日活

毎日午後四時から學生特別公開

會費 一般階上八十錢、階下六十錢◇中等生二十錢
讀者階上六十錢、階下四十錢◇小學生十錢

主催 滿洲日報社

『嗚呼中村大尉』映畫會
讀者優待割引券
この券持參者は大日活階上六十錢階下四十錢
主催 滿洲日報社

『嗚呼中村大尉』映畫會
讀者優待割引券
この券持參者は大日活階上六十錢階下四十錢
主催 滿洲日報社

(昭和三年十月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人 鈴木昇 編輯人 福本喜代治 印刷人 寺村武雄
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

日本の誠意を信賴し時局經過の靜觀希望

錦州事件は自衞權の範圍內

聯盟への回答大要

【東京十日發】帝國政府は聯盟理事會議長レルー氏の九日附通牒に對し大要左の如き回答をなすに決し十一日芳澤代表に電訓することゝなつた

一、日本は九月廿四日附の聲明に瞭かなる如く理事會の勸告の趣旨に從ひ極力事件の防止に努め遂次原駐地復歸を實行した、その後支那敗殘兵の鮮人虐殺事件數ヶ所に突發せるためこれが鎭壓に兵を動かした事あるも鎭靜に歸すると共に撤退してゐる **錦州事件は學良氏らが同地に大兵を集結し軍事行動に出る如き氣配ありたるより日軍は當然の必要により飛行機を以て同地を偵察せるに支那側の射擊を受けたるを以て應戰した迄で自衞權の範圍を出てず日本はその重大性を認め得ない**

一、日本は日支直接交涉により速かに諸懸案解決を希望しゐるに支那は右に對し何等誠意を示さず徒らに**聯盟或は第三國に誇大の宣傳をなし**日本との交涉を回避し他方排日運動を默認するの態度を示しつゝあるは日本の諒解しがたき處である日本は聯盟に對する**支那の徒らなる依賴心を增長せしむる事なき樣**日本の誠意に信賴し公平なる第三者として時局の經過を靜觀されん事を日支兩國の利益のために希望する

東三省官銀號は十五日より開業

奉天の日支金融會議において管理辦法決定す

旣報日支金融關係による十日のヤマトホテルに於ける日支金融會議は午前九時三十分より午後六時に至る長時間のものであつたが官銀號に關するものは左の如き東三省官銀號管理辦法を設け十五日より開業することゝなつた

營業 公金の取扱は左記の制限を受くるものとす

一、從來の公金はこれが拂戾しをなさず

二、今後の公金取扱は新勘定によつてこれをなす

預金拂出し

一、普通豫金者に對し貸出しある場合は豫金の拂戾し額に應じこれを差引き考慮することあるべし、但し同業者に對してはこの制限を設けず

二、豫金の支拂ひは左の限度を受く、五千元未滿は全額拂出し、五千元以上一萬元未滿は六千元拂出し、尙一萬元を增す每に拂出し金一千元を增加するものとす

三、預金拂出し回數は一人に付き一週間一回とす、但し新規預金者は自由とす

貸出し

一、從來の貸出し金は極力これが回收に務め已むを得ざるものゝ外はこれを行はず

二、支店の取扱ひに關する貸出しは一、一本店の許可を要す、尙附屬營業に關する貸出しは逐次これが整理をなす

爲替取組

商取引又は個人の正當なる要求に限りこれに應ず、亦滿鐵沿線各支店において大爲替の依賴を受けたる場合は本店の許可を要す

紙幣發行

一、未發行の紙幣はこれを嚴封の上保管す、尙破損のため新發行を要する場合はこの限りに非ず

二、新紙幣發行の場合は發行準備金を要す

兌換取扱制限

一、奉天城內に兌換所一個所を設く

二、一人一日の兌換は現大洋五十元に限る、尙百元以上城外帶出を禁ず、これを犯す者は嚴重處罰する他地方維持委員會所定の罰則を受く

本辦法は新政權設立し官銀號整理と同時に以上の效力を失ふものとするものである、因に以上に關する細則の協定、特產出廻り期に備ふる滿鐵沿海鐵路の開通問題並に東三省財政根本方策その他に關して本日も會議を繼續してゐる【奉天電話】

反日會の活動猛烈で不安の氣漲る靑島

双十節に正金に兌換を求めて支那人群衆押寄す

【靑島十日發】今日は双十節で休みに拘らず支那人群衆は正金支店に押寄せ兌換を要求せるため午後一時より兌換に應じてゐる右は市黨部がためにせんとして放ちたる宣傳によるものである、なほ當地の反日會の活動猛烈となり不安の空氣濃厚となる

上海の邦人十數名襲擊され負傷

陸戰隊裝甲車で急行

【上海十日發】今日の双十節を期し抗日救國會は個々集團となり市中遊行中遂に楊樹浦の大阪商船碼頭近所で通行中の邦人十數名を襲擊負傷せしめた、これがため陸戰隊は裝甲車、機關銃隊を急行せしめ暴民を四散せしめた、目下楊樹浦一帶は通行不能となり嚴戒中

レセプションには日本側より上村領事、宮沼海軍、原田陸軍武官出席したが支那側は我が代表にオートバイ五臺、共二十名を付け嚴戒した

重光公使の軍艦乘込に狼狽

過激なる排日ポスターを剝いで一時を糊塗

【南京十日發】重光公使が從來の例を破り軍艦にて來京せる事は日本の斷乎たる決意の程を間接に表明するものとして支那側に非常な衝動を與へ現に右の報に接するや警備司令は市內外に於ける過激な排日ポスターを昨夜中に剝ぎ取るなど狼狽振りを暴露してゐる、然し積極的に排日運動を彈壓する事は南京政權の瓦解を招く惧れあるので結局その取締も一時的の糊塗策である事は明白であるなほ重光公使は十一日午前十時抗議書を提出する事となつた

我代表を嚴戒

【南京十日發】國民政府の双十節

首腦者決定

官銀號と邊業銀行

東三省官銀號および邊業銀行の首腦者は十一日左の如く決定した

東三省官銀號
總辦兼會辦 吳思培
副經理 劉德文
總文書 王進文
總稽核 王德恩
副稽核 孫耀宗
同 王元徵

邊業銀行
總裁事務取扱 閻澤溥
經理 郭尙文
副經理 張寶錫

視聽を集むる十三日の理事會

加盟國出席者の顏觸れ

【ジュネーヴ十日發】國際聯盟事務局は來る十三日日支問題に關して開催せられる聯盟理事會に關しフランス外相ブリアンイギリス外相レヂング卿スペイン外相にして理事會議長たるレルー伊國外相グランヂ、ポーランド外相ザレスキーの五氏から出席すべしとの通知を受けた尙ドイツ首相兼外相ブリウニング博士からは出席出來るかもわからないと通牒して來た尙會議は火曜日(十三日)に開會して十四日に休會し引續き各國代表と日本代表芳澤謙吉支那代表施肇基の諸氏との間に非公式に問題解決の基礎について討議する機會を與へる事とし結局會議は來週末迄續くものと期待せられて居る尙紛爭解決の手段として聯盟當局側の意見によれば聯盟諸國は戰爭發生防止のいよく最後の手段としての外は日支兩國中の何れに對してなりとも經濟封鎖のごとき手段に出づることは好まざる處であると言ふて居る

湯氏も近く獨立か

張氏再起絕望と見て

【北平十日發】熱河主席湯玉麟氏は張學良氏の再起絕望と見て獨立を決意し奉天方面に代表を派して東北の新政權と連絡を圖り數日中に愈々獨立宣言を發することゝなつた

邊業銀行も共に開業決定

滿鐵首藤理事語る

東三省官銀號及び邊業銀行の開業に關して滿鐵首藤理事は語る

地方維持委員會の日支各銀行代表を網羅する金融委員會は時局關係で休業中の東三省官銀號及邊業銀行の金融維持方法に關して愼重協議の結果主體案を作りその金融辦法を決定せる外その他兩銀行總辦並びに日本人顧問一名並びに監督若干名を決定し愈々十五日より開業することになつた、實は十二日の月曜から開業し、一日も速に財界の不安を除く心算であつたが銀行員が鄕里に歸り不在の爲め準備が整はず已むなく十五日になつたのだ、尙銀行開業後は現在現大洋が大洋銀に對して二割安であるのを同價額に維持する筈である兩銀行の兌換準備金は充分であるから滿鐵から貸出しするやうな事はない

尙官銀號總辦は副總辦を以てこれに充てる筈で監督は滿鐵首藤理事正金、鮮銀支店長を初め二十名である【奉天電話】

兩銀行顧問
同 郭集珍
首藤正壽
兩銀行諮議 向井忠
川上喜三
竹內德三郎
田中德義
福田寧治
酒井輝馬
鈴木輝之
芝田研三
【奉天電話】

說明に傳へられて居る宣統帝を擁ぐ恭親王の運動、また恭親王を中心の滿洲旗人政權樹立運動などその主

蒙古獨立宣言

報告

コロンバイルにおける蒙古の獨立運動に關しては旣報の通りであるが七日米春霖は張學良に宛左の如く急電したと

蒙古騎兵數百騎は興安嶺一帶に活動を開始し旣に蒙古獨立の宣言を發せり【奉天電話】

內蒙四十八旗

王侯代表會議

タラハン王部下の包紙領は突如音都を奪び蒙人漢爾縣氏等の有力なる人々と圖り內蒙四十八旗王侯を召集して代表會議を開催に決したこの爲め蒙古靑年黨四十餘名は旣に洮南、通遼一帶に到り宣傳中であり、また蒙古騎兵千名は興安嶺に出動した【奉天電話】

果して成功するか滿洲獨立運動

風雲に乘ずる人々の橫顏……(下)

奉天にて 前田特派員

丁鑑修氏

地方維持委員會の中心となつて最も活動してゐる、遼寧省鐵嶺縣人、日本に留學して早稻田大學に學び歸國後奉天の師範學校や警察學校に教鞭を執り、從日本語が達者なところから張作霖氏に用ひられ東三省巡閱使署外交課長に任ぜられ、日本側との交涉に當り事變前まで東北邊防長官公署諮議、遼寧交涉署顧問の職に在り一面日支合辦の弓長嶺鐵鑛公司總辦である、しかし近年は政治的には不遇であつたから事變後好機到來とばかり盛んに活躍してゐるのである今四十五、六歲の働き盛りである

于冲漢氏

原籍は本溪湖であるが近年は久しく遼陽に住んでゐる、若い頃熱河や直隷省で縣知事をやり明治三十年東京外國語學校の支那語講師に聘せられ、傍ら日本事情や日本語を研究したので日本語は達者である、日露戰爭中我軍の特別任務に服しその功で勳六等に敍せられてゐる

戰後遼陽交涉局長となり、その後遼陽知州外交部特派奉天交涉員等に歷任し大正三年張作霖氏が二十七師長時代その顧問となつたのが緣となり、爾來十數年間張作霖氏と日本側との交涉には直接間接關係してゐる、その間東三省保安總司令總參議として奉天省政を切廻したり、東三省官銀號總辦、東支鐵道督辦等の顯職にも當り、現在は大興公司總辦である

近年老衰して遼陽に隱棲し今度の地方維持委員會にも名は列してはゐるが未だ一度も奉天に出て來ない、先づ維持委員會の顧問格といふところであらう

金梁氏

息侯と號し滿洲旗人、滿洲名は瓜爾佶、五十一歲非常な古學者である、前淸時代新民府知府や洮昌道尹、蒙古副都統、內務府大臣少保等に歷任し近年は東三省博物館長であつた、人物がしつかりしてゐるので地方維持委員會でも袁金鎧などより評判がよい、前朝の遺臣で復辟派の有力者と目せられ吉林の熙洽等と共に二十年振りに滿洲人が檜舞臺に出た譯である、近頃一部に傳へられてゐる宣統帝を擁立して滿洲に明光帝國を建設するといふ話も此人から出たものかも知れぬ

李友蘭氏

遼寧省法庫縣人、四十六歲、初め奉天師範學堂や中學堂の先生をしてゐたがその後實業界に入り再轉して政界に活躍し奉天省議會議長として羽振を利かしたこともあつた、大正八年日支合辦の鴨綠江採木公司理事長となり、昨年本溪湖煤鐵公司總辦に就任し事變直前には北平市長榮轉に內定してゐたところを見ると相當張學良氏の信任を受けてゐたものと思はれるが事變後地方維持委員會の中堅となつて日本側との折衝に當つてゐる

張成箕氏

遼陽の人で于冲漢氏の門下生である、袁金鎧氏始め地方維持委員會には遼陽閥が幅を利かしてゐるので、日本軍の勢力下の奉天で政府樹立運動を許さぬなら遼陽に移さうかといふ話まである、それは兎に角として張氏は民國初年遼陽で公立報といふ新聞を經營し一面中、小學校を創立して現在でも同地教育界の元老として名望あり奉天省議會開設から五回まで省議員に當選し議長に選任されたこともあつた、近年は遼北農務局總辦といふ職にはあつたが殆ど世に知られなかつた

孫其昌氏

佟兆元氏

撫順の人、前淸時代奉天高等師範學堂を卒業して各地の學校に教鞭を執り大正元年省議會議員に當選し翌二年議長に推されて政界に活躍し大正七年に奉天省長に榮進したのが、其黃金時代であつた、その後は下り坂になつて大正六、七年間鴨綠江採木公司理事長、同十年奉天交涉員、十二年遼瀋道尹に歷任し爾來世に忘れられてゐたが今度地方維持委員會に一役割込んで久し振りに浮び上つたのである

地方維持委員會委員、最近まで遼寧紡紗廠總理であつたといふ以外には殆ど知られない人である

趙欣伯氏

地方維持委員會の委員ではないが顧問として實際は參謀長格である、北京人、四十三歲、大正六年大連に來て小學校の教員などをしてゐたが發奮して日本に留學し明治大學を卒業し大正十四年刑法の過失に關する博士論文がパスして法學博士を贈られ織田前大審院長の斡旋で張作霖氏の法律顧問となり一時楊宇霆氏に取入つて羽振を利かしたが楊の死後振はず近年奉天で東北法律研究會を組織して自ら會長となり日支法曹界の接觸に努めてゐた

對支問題と與黨の態度

【東京十日發】對支問題重大化に鑑み政友會方面ではこれを政爭の具に供し倒閣運動を起さんとするやに傳へらるゝに至つたので民政黨では棄て置き難しとなし永井、山道、中野氏等中堅幹部が十日朝來より協議の結果大體積極的意見一致したので山道氏は午後總母木氏と協議の上近く黨出身閣僚と黨首腦部の會合を開き對支問題、財界問題を中心に意見交換の上今後の政局に處すべき指導精神を確定し合せて對支問題に對する黨の態度を天下に闡明し國民的支持を求むる事となつた

タス社特派員スレパツク氏來滿

勞農ロシヤにおける御用通信社として各方面で問題を播き注目されてゐるタス社北平駐在員スレパツク氏は十一日入港天潮丸にて來連したが、仄聞するに直に奉天に行き今次の事變につき調査をなす事になつたもので奉天における行動は注意に値する

物にならぬ復辟運動

某消息通談

滿に我本庄軍司令官より我軍の警備區域內に於ける政權樹立運動はこれを許さずとの聲明發せられあるに拘らずこれに關する流言

第二の反抗 (54)

三宅やす子
阿部金剛畫

家出の後 (四)

「お父さん、おゆるし下さい、私はしばらく一生懸命に働いて、お金を送ります。それよりほかに、私のゆく途はないのですから、どうぞ私の我儘を御ゆるし下さい、居所が、よくきまるまで、ほつといて下さいまし、いゝところに住み込めるやうになつたら、すぐおしらせしますから」

郵便局の窓口で、封緘はがきに走り書きをして投下してしまふと喜美は、今晩のゆく先をまづ思ひ定めなければならなかつた。

「あんたですか」

何とか躊躇したのだが、喜美は何もかも夢中だつた。

「働いて御覧なさい」

といふ返辭をきくまでに、さはかゝらなかつたらう。それほつとして、今夜の宿を得たのであつた。

それが彼女の女給生活の最初である。

一週間、そこに辛抱することは彼女は、まるでさびれた、此處に居ることが、何の役にも立たぬことを知つた。

勤め先の仲間で、少しは家の事情も明かすほど、親い友達のところに、何げなく足が向いた。

「どうしたの?」と云つて、出迎へてくれると思つた友達は、家に居なかつた。

部屋を貸して居るたばこやのお上さんは

「さあ、夕方、お出かけになりましたよ。何でも活動か何からしかつたんですよ、ここによると今晚はおそいかもしれないつて斷つてらつしやいましたからね」

ニヤ〱して話す話し振りから察しると、誰かと連れ立つて出たのでもあるらしい。

さうした友達を待つて居たつて仕方がないと思つて、喜美はそこを出た。

さうして、歩きまはつて居るうちに、賑い、しかし賑やかな通りに出て、そこで見た「女給さん募集」の札。

フラ〱とその中に彼の女の足が吸ひ込まれた。

丁度、客の中に、それはまて來た時から、彼女に親切にかける客だつたが、もつといところを世話してやらうと云つれる人があつて、その人の紹カフエ・ミナ(それが最初の名だ)よりは、ぐつと大きなはいることが出來た。

さうして、當分こゝに落ちうと彼女は決心した。

それまでに、彼女は、第一のさた、たまに思ひ出しもしたが、の身の振方の不安に滑されてらみも憾しさも、少しずつたちになつて居た。

カフエ・フヨウの客だれはつた。

若い會社員や、官吏風の男繁つた。

其中で、どうかして第一にくりな背格好の若年が、廉をてはいつて來る瞬間、彼女はツと思つたりした。

は、やはり、また、第一のあ追つて居るのだつた。

賑やかな生活の中で、彼女の

社説
奉天の財界と金融の急務
官銀號を開店せよ

奉天の財界は、官銀號及び邊業銀行が開店されれば復活せぬことは、吾人が事變直後の經濟事情に卽して、率先提唱した。しかるに同地は秩序の恢復、治安の維持等々、其他種々の事情により未だ開店に至らぬため、日本側の取引所さへ休業を續けてゐる有樣である。而して中國交通兩銀行等爲替業務を主とするものは、去月二十八日開店後當面財界の急に應ずるため、能ふ限りの犧牲を拂ふ覺悟で營業してゐるが、開店後兩行の上海天津を主とする爲替取組は、當初の一週間一日約二十萬元で、其渫金歩合も、百元に對し四元半乃至五元といふ低率を以てし洋票を受入れて仕拂に應じてゐる現狀である。併し此犧牲を續けることは、兩行の堪へざる所で、換言すれば、兩行紙幣を以て洋票の兌換に應ずる譯であるから、際限なく繼續することは出來ぬ。畢竟官銀、邊銀が開店せざるために、爲替にも制限を附せねばならぬことになるので從て財界は惡化することになるから、官銀、邊銀の開店は焦眉の急に迫つてゐる。

◇

更に商業取引に至りては、大手筋は全然停頓の狀態であつて城內商店の開業は次第に增加してゐるけれども、中商人以下の開店であつて、取引の常態に復することは容易でない。此金融と取引の停頓狀態は、延いて城內外市民の經濟生活を脅威することゝなり、逐日深刻さを加ふるのは當然である。其結果衣食に窮せる徒が、生きんがために惡化して、掠奪や暴行を演ずるに至り、日を經るに從ひて尖銳化を免かれぬ。故に金融問題は、此社會的經濟生活の觀點に於ても、實に基幹的の重要性を有するので、何を措いても官銀、邊銀を開店せしめねばならぬ。目下軍部に於ても、これ等の狀況を察し、關係方面とも協議して兩行開店の準備に力を盡してゐるが、吾人は軍部のみならず、あらゆる機關の合流に依り、力を集中して奉天財界のために善處せんことを望む。夫れは獨り支那側のためのみでなく、軈ては日支經濟の聯關に於て、日本のためであることを言を俟たぬ。

◇

官銀及び邊銀の現狀に徵せば軍部が事變に處するために、或程度の制限を加ふることが、却つて營業上の緊張を加ふることにもならうし、治安の維持と共に事變的雜沓を防ぐことにもなる。故に或程度の保證の下に、支那側各銀行が共同開店すれば兩行の狀態は決して悲觀するに足らぬ。現在兩行の內容を見るに、邊業銀行は直に開店するに支障なく、唯官銀號が貸出三千萬元の回收不能のために、稍不安たるを免れないけれども、右の如く各銀行の共同援助に依り無難に開業し得ることは左程困難ではあるまい。殊に目下特產出廻り期に當り、實際上の兌換準備たるべき特產物は、眼前に山積されてゐる。今迄は東四省軍閥一派の橫暴に依り、不換に等しきものを强制通用せしめ、集積したる特產物は買拂ひて、軍費其他に濫用されたが、虐政の轉向は善政の將來すべきを意識し、斯かる弊害を防ぐことを像想して、財界は敏感に一種の强化をさへ潛在せしめてゐる。

◇

暴力に依る貨幣の强制通用とこれに依りて買付けたる特產物を貪り飛ばし、悉く浪費し盡して尙不足を想へた既往の暴政は財政經濟の基幹的破壞であつたかくて經濟界を組織づけることも出來れば、又其發達も開發も皆無で、悉く阻礙と防遏とを加へたものである。夫れにも拘はらず、廣大なる東北の資源は、年々產出する農產物を主として輸出超過は三億兩を算し、爲替の決濟は常に特產物出廻りの季節に行はれて、毫も現銀の放出を見ず、年と共に其富を增加する勘定である。然れども軍閥鬪爭を事とし、又私利私慾を逞うする既往の暴政は、悉く之を破壞して民衆を虐げた。これがために政府の發券は濫く不換紙幣と化し、奉票の慘落となり、課稅の重壓と共に民衆は塗炭の苦惱を受けてゐた。然るに今次の革命的事變は、此の如き惡政の出現を許さぬだらうといふ信賴のために、財界に偶然の强化を意識するに至つたのは、一種の奇現象ともいへやう。

◇

吾人は東北三千萬民衆のために、今次の事變を劃期として、善政の出現を望むこと切なると共に、夫れに依りて經濟力の充實と、財政の鞏固なる確立を望んで止まぬ。而も經濟、財政の安固は、從來の虐政を轉向することに依りて、容易に成し遂げられることを知るが故に、當面事變に遭遇したる經濟上の一時的打擊は毫も悲觀せぬ。隨つて相當の用意の下に、先づ官銀、邊銀を開店して、中央金融機關の運用を圖り、漸次其機能を擴大强化して、當面の應急策に伴ひ、將來の經濟策を立つることが肝要である。幸に奉天を中心とする支那側の識者は、恩ひを玆に致して目下努力中であるといふ。必ずや急迫せる財界の現狀を展開するに、最も効果的であらうことを知り、再び金融機關の復活を提唱し、同時に聯關を有する彼此經濟のために、日本側の關心をも勸奬するものである。

州內棉花平年作
總收量百卅八萬餘斤

本年度州內棉花收穫豫想は左表の通りで總收量百三十八萬九千五百三十九斤で略前年の實收量と同量の平年作である、滿洲棉花會社では協會の手を經て本月二十日から左記各地及出張買入地に於て實棉の買入れに着手する筈で目下大阪相場により關東廳と買入値段の協定中であるが、本年は例の米棉の豐作に押され棉相場は實に明治三十六年以來の下落を見てゐる狀態であり從つて州棉の相場も昨年の平均九圓六十六錢に比しグット下つて先づ五圓二三十錢見當となる模樣で棉作業者の打擊甚大なるものがあらうと豫想されてゐるが、關東廳では棉作獎勵の見地から出來るだけ會社の買入値を引上げさせ農家の利益をはかる筈と(單位斤)

實棉收量豫想

	收量	同反高
旅順	二四三、七五一	九二
大連	二三五、四七五	五九
金州	三九八、三二四	七三
普蘭店	四五五、八五五	八六
貔子窩	三六、一三四	五七
計	一、三八九、五三九	七六

十月中實買日割

▲旅順市扶桑町廿二日▲營城子屯廿四日▲大連市下藤町廿三、卅一日▲新金州小川町廿、廿九日▲二十里堡大會二十里屯廿六日▲普蘭店會[illegible]業街廿一、廿八日▲卅里堡大會買石山屯廿七日▲貔子窩會李家屯卅日

八相
投書歡迎　五十行以內

埠頭待合所の利用

◇われ等大連市民は東洋一の埠頭を自慢の一つにしてゐる、しかも汽船の發着にはこの埠頭の何と無秩序な混雜を呈することか

◇船の出入每に送迎人が多數に上ることは當然で、從つて相當混雜するのはこれまた當然だが、立派な設備を完全に利用することをさせぬ多くの人のためにこの混雜が更に甚だしくなるにいたつては堪らない。

◇埠頭の混雜はその大部分が送る人送られる人、迎へる人迎へられる人を搜すための混雜である、この混雜を緩和するために待合所の柱にカだとかすだとかの札をイロハ順につけてあるのだ、これを利用すればイの頭字の人はイの柱の下ですべての人と譯なく會へる、

◇この柱さへ利用したら何も八方手分けして人を搜す必要もなければまた逢へる人にも會へずに間一髮の所で一目見ただけで言葉も交さず別れることもしないですむ、またこれを皆の人が利用したらあんなに混雜しないですむ筈だ、

◇東洋一の埠頭を誇る大連市民よこの埠頭の設備を充分利用して東洋一を意義あらしめるやうにして下さい。

滿洲事變に關し中外に聲明す (一)
滿鐵社員會發表

二萬會員を擁する滿鐵社員會は今回の滿洲事變に際し蹶然起つて歐米各國人の誤解を解き正しき滿蒙問題の批判を求めるため國際聯盟當事者および歐米各言論界に呼びかける聲明書を發することゝなつたが左はその日本文の原文である

滿鐵全社員を以て成り滿洲最大の日本人團體たる滿鐵社員會は國民的義務觀念に基き其擁する二萬の會員の名に於て時局に關する所信を中外に聲明する

日本及日本人は斯の信念に立脚する

東洋平和の確立を計り民族共存の實を擧げ以て人類文化の進展に貢献するは實に明治維新以來の國是にして亦我民族の使命と信ずるところである

日淸日露の兩戰役は淸露兩國の侵略政策が我國防の安固を脅かしたるに起因すること勿論であるが、同時に東洋全局の平和に關して責務を感ずる日本道義精神の發露なることは兩戰役宣戰の詔勅及び當時の國論が[illegible]としてこれを示す世界民衆は斯の歷史的事實を記憶せよ、日淸戰役の賠償の一部として我國土に加へた遼東半島を我國は東洋平和の名に於て支那に還附した、然るに支那は直に以て露國に與へ、加ふるに我國を敵とする秘密攻守同盟條約を結び露國をして軍事鐵道を敷設し旅順要塞を築造し殆ど全滿洲を占有するを得しめて故意に禍亂の因をつくつた(此の密約の內容は華盛頓會議の要求により支那代表によつて記錄された)

其後十年我國が再び國運を賭して滿洲の野に戰ひ十萬の生靈と二十億の國帑とを犧牲にせざるを得ざりしもの、一に支那の背信行爲に基くものではないか、幸ひにして戰ひ我に利あり滿蒙に於ける露國の權利を賠償として引繼いだが、その實質的には支那の背信行爲と三國干涉とによつて失へるところを回復したに過ぎぬ、而して國運を賭したる此の兩戰爭を通じて我國民は滿蒙を支那の爲すがまゝに委すべからざることを學んだ、東洋の平和を保持し我國防の安全を期せんとせば、先づ滿蒙に我權益を確立せざるべからざることを學んだ、此の故に滿蒙に於ける我權益は、之を我國民の正義觀念及國防觀念と引離して考へ能はぬ、之を權益と謂ふも實は我國家及民族生存權の最小限度の主張にして又東洋平和維持の爲めの缺くべからざる保證に他ならぬ

我等は滿蒙に於て何を爲したか

滿蒙の地は二十數年前迄目する磽确不毛の邊土を以てせられた、我國之が開發に當り十七億の巨資を投下し、我文化的施設と經濟的援助を此に加ふるや其土地は保全せられ鐵道は通じ礦山は開かれ二十年にして人口增加約一千萬、我國人の來往する者亦一百萬、玆に諸民族共存の一大樂土を現出した、之を貿易に見るに日露戰役前年額僅かに五千八百萬圓に過ぎざりしもの、昭和二年には六億七千萬圓となりて支那總貿易額の三割五分を占むるの優勢を示し、今や支那全土中最も富める地方となつた、而して支那軍閥の搾取あり且つ滿鐵沿線以外の地に於けるその治安維持十分ならざるにも拘はらず滿蒙三千萬の民衆は支那何れの地方にも增してその慶福を享受しつゝある、これ全く我持撥經營の賜にして、所謂日支共存共榮が口頭禪に非ずして眼前の大事實たる證左である(1931年版英文第二次滿洲報告書を見よ)

上海の排日

【上】抗日大會の市中游行【下】女學生團の抗日演說會

炭油時代と快速船
鞍山製鐵の驚異的發展

かうした定期客船の外に貨物船は二千噸速度を以て諸方面に貨物の輸送に從事させてゐる。それ故客船なるものは郵便、小包の外は特別扱速達貨物や高價品に限られてゐる。

一方殆どモーター船時代となつた爲め、岩油採出より、石炭採出となつたので此炭油の需用は世界的となり、炭油時代の出現は滿鐵事業部の尤も大なる事業の一となり、今や製鐵事業と互に覇を握らんとしてゐる。之れがため岩油輸送のタンカーの一艦隊をも建造した。

◇

大連香港線─運航表

第一日　午前八時大連發　午後五時青島着　九時間
第二日　同　八時發　午前十二時上海着
第三日　午後三時發　午後七時香港着
第四日　午前九時發
第五日　午後一時上海着
第六日　同　六時發　午前七時青島着
第七日　同　十時發　午後七時大連着　九時間

◇

內地定期運航表

第一日　午前九時大連發　午前五時下關着　廿時間
第二日　同　八時下關發　午後四時半大阪着　八時間

◇

斯の如く滿鐵會社が諸種の事業を合理化せしめしことは、財政的致命傷を負へる支那鐵道、東支鐵道及烏蘇里鐵道の諸社は滿鐵會社の羨望の的とした。殊に製鐵事業は英米を凌ぐ大發展を來し、鐵道に必要なる總てのものは、鞍山及大孤山工場より製出され、機關車客車、そしてレールより諸附屬器具に至るまで、註文に應じて直に製出さることゝて、全滿洲の需用は元より、シベリア又は支那內地諸鐵道もこれが製作品を購入し、組立てられた機關車又は客車はそのまゝ南滿線より他の諸線へ引入れられ、何等運送の荷造りは手數を要せぬのであつた。

◇

此光景に莞爾たりし總裁は機到れりと心中ひそかに期する處があつた。然したゞ其鋼志をさらけ出すチャンスの到來を見つめてゐた折柄、東支鐵道を初め烏蘇里鐵道及支那鐵道は既に幾年となく其赤字時代をうまく辻褄を合はして來たが、もう二進も三進も動きの取れぬ破目となつた。殊に東北諸省が中央政府に離反して獨立を宣し居る關係より、又日華大銀行創立に際し、支那鐵道の一部を擔保として同銀行に投資して確固たる[illegible]通貨を得るに至りて、反古紙の如き奉票及其他の省票を整理して財產の建直しに成功せる點等より日華大銀行へ借款の申入れあり、一方東支及烏蘇里鐵道も同樣借款により、軌道の大修理を施さんとせる腹案を聽くに及び、總裁は徐ろに全滿諸鐵道合併交涉の案を立てたのであつた。

◇

夢のやうな話だよ！相手を見ずに……！ちと風呂敷が大き過ぎるよ！などゝ、一度此の合併の話が新聞紙上に現はれた時、此處彼處も此話で持ち切りであつた。過ぎ去つた事は何でも夢のやうに短い。然し總裁は急がず其合併を進めた。一方相手國の諸新聞は日本軍閥の野心のために羊を裝ふ狼と評ひ、聽て滿蒙併吞の土臺を造るものと言ひ、諸種の評論は又諸種の諸言も生じ、或は諷刺論となつて現はれて來た。殊に驚いたのは南京政府であつたが、總裁は全滿洲の福祉と、共榮共存の大義に立脚せることゝて、如何な批評に對しても氷塊の大洋に浮ける如く冷然としてゐた。然るに遂に其目的は驟來せる諸種萬難の後に漸かしくも現はれて成熟の日が來た。しかし各社のバランスシーツの精査より、線路工事の踏査など三社のエスチメートを鵜呑とすることは出來なかつた。隨つて協議破裂と噂さるに至つたが、總裁は三年の歲月が流るゝ間に遂に合併の氣運を釀成せしは、一に滿鐵會社の事業合理化に彼等が一驚を喫した次第で、鐵建資本による鐵政入の競爭に堪へ得ぬ彼等の悲哀も織り込まれて居た。

滿鐵の作業管理改善
目下着々研究中　荒木囑託談

作業管理における日本の權威者滿鐵囑託荒木東一郎氏は十一日入港のはるびん丸で一ケ月振りに歸連したが語る

東京に事務所があるしそれに產業合理局の仕事にも關係してゐるので始終內地とこちらとを往復してゐるだけで別に土產話はない、滿鐵の作業管理の改善も目下着々研究はしてゐるが仕事はまだこれからだ、それよりもこちらの日支衝突事件の輿論はどうかれ、內地ではあらゆる人々が滿洲問題といふことに非常な注意を向けて來たし、衝突勃發前までは內地の輿論も戰爭肯定、否定の兩論があつたが今では殆んど全部が戰爭を肯定しそれを當然として支持してゐるやうだ

尙氏と同船で家族同伴歸連した滿鐵旅館事務所長大坪正氏は朗かに笑ひながら

僕は家內や家族一同を纏めに歸つたので面白い話もない、まあ夫婦連れで歸つたから結局アミダ會の罰金を取られに歸つたやうなものさ、內地では今度の事變の話で持切りだが、甚だしいのになると關東州なども物騷だなんて與太が出てゐる

關東廳辭令(八日附)

關東廳通信書記　堀井政治
補奉天丸無線電信局長

●訂正　十日々附本紙朝刊新民府に於ける邦人虐殺事件の記事中藍旗戶居住德城氏とあるは藍旗堡德弘眞氏の誤りにつき訂正

人事

▲小池文雄氏(滿鐵々道部旅客主任)內地出張から歸任の途沿線各地視察中のところ十日朝八時着列車にて歸連
▲三浦忠次郎氏(北支那駐屯軍參謀)十日出帆濟通丸にて天津へ
▲桑島主計氏(天津總領事)同上

大觀小觀

「馬鹿ッ畜生ッ毆るぞこの野郎ッ」と怒罵雜言するのが挑戰でなくて▲隱忍自重堪忍袋の緒をきらして憤然毆り返したので挑戰であると云ふ理窟は到底日本人には分らない▲個人の喧嘩でも然うだが起るべくして起り、已むに已まれぬ事情があつて突發するのが常だ▲而も先にチヨツカイを出して置き乍ら相手の見幕が餘りに强いと見ると、俄に逃げ腰となつて第三者の憐みを乞ひ▲憎まれ口だけは相變らず續けて居ると云ふ卑怯な態度が果して許されるものか何うか▲國と國との間に起つた複雜且つデリケートな紛擾だけに事柄はやゝ違ふが日支の現狀は正にその觀があると云へやう▲國際聯盟は滿洲事件の突發を馬鹿に氣にしてゐるやうだが滿洲事變勃發前後の經過をよく考へて見るがよい▲支那側の排日、侮日、抗日、反日、等々──凡ゆる挑戰的暴虐が續發せぬ限り、東亞の和平は當分望みなしと見なければなるまい▲「落されて補盜人に理窟あり」──邪道句子」▲蔣介石君は排日の急先鋒たる大學生に武器を持たせた▲火藥庫の附近で子供の火遊びは危い危い▲危いと云へば鮮人襲擊の諸[illegible]支那居住民も當局の[illegible]な布告にやつと安堵の色▲ソロ／＼と船で渡り行くのは多く奧地から來た連中ばかりで當地居住民は平素の通り極めて平穩▲「さき／＼は[illegible]」──邪道句子」

（第三種郵便物認可）

日支衝突の謠言に新民の人心動搖

領事分館は極力警戒中

十日新民にて　藤井特派員發電

十日記者（藤井特派員）は新民府にある新民縣公所を訪れて魏縣長に面會した、新民府は縣長と土屋領事との諒解の下に約六百の巡警が武裝解除をなさず、現在は支那側において治安を維持してゐるところである、記者の往訪に對して縣長は日本新聞記者に面會するは始めてだといひ、頗る驚いた態であるが、記者の質問より先に「何の用で新民府に來たか？」としつこく尋ねる、殆ど訊問するが如き調子で日本軍當局の意向、また領事さどんな話をしたかと根ほり葉ほり尋ねた揚句「日本は國際聯盟で本月十四日迄に軍を全部撤退するのか」と言明したが眞實を行するのか」と訊いた、記者は「そんな話があつたかどうか知らぬ」と答へると彼は「余は用事が多いから失禮する」と別れた、又一方當地支那人間には十四日には日支大衝突あるとの謠言しきりに亂れ飛び、彼等はそれを固く信じて居住四萬の人心動搖甚だしい、毎日新民驛より北寧線によつて西へ西へと避難してゐる、又土屋領事の云ふところによればその謠言は遠く打虎山方面まで擴がつてゐるとの事である又奉天においては既報の如く張學良軍が十五日大擧押寄せいよく日支戰爭起るから支那人は避難すべしとの流言行はれてゐるが、一方錦州よりの密偵しきりに出沒する事實に徵し、この流言の原因は錦州政府の畫策らしく錦州政府に對する最前線にして又七十餘名の在住邦人を有する新民府領事分館においてもこゝ四、五日を極力警戒してゐる

後任の大連市長は大勢大内氏に好轉

田邊敏行氏推薦に絡んで中正倶樂部は内紛

後任大連市長の銓衡委員會は各派の意見纏まらず目下中斷の形にあるが右狀勢から全會一致の推薦を困難と見た滿鐵派ならびに中正倶樂部は策動の中心となり滿鐵衞生課長で現市會議員たる金井章次氏を推したので一方革新倶樂部はそれと對抗上辯護士たる現市會議長大内成美氏を擔ぎ出し兩者對立となつたが、その後交渉の結果金井氏に就任の意思なきこと判明、氏を推してゐた滿鐵派ならびに中正倶樂部は更に前滿鐵理事田邊敏行氏に出馬を促す事となつた、これが爲め山本社長時代の昭和製鋼所新義州設置問題に絡み中正倶樂部の一部は田邊氏の出馬に反對の意思を表示し分裂の危機を孕むに至つたので革新倶樂部はこの好機逸すべからずとなし暗中飛躍を試みた結果大勢大内氏に好轉しつゝあるが、しかし田邊氏不利と見れば他にまた候補者を物色すべく決して樂觀は許されない情勢にある

税關規則を犯しリ大佐夫妻上陸

【長崎十日發】上海丸にて長崎經由東上したリンデー夫妻を汽車時間切迫のためこれに間に合せるべく郵船にては港内進航中の船を途中停船せしめ税關指定以外の棧橋に上陸せしめた事は關税規則二十八條並に關港々則違反と見做し十日郵船支店員を税關にて取調中であるが、リンデー夫妻上陸方法違反決定後リンデー夫妻に對する處分を如何にするか注目されてゐる

セパードの嫁選び

牝犬審査會は十日午後二時から協和會館前庭で滿鐵々道部主催で開催された、三國一の花嫁たらんと集つたワン子嬢二十四頭で畜生の淺ましさかワン／＼ワン／＼喧騒なこと話しにならない、まづ身體檢査、歩行試驗、訓練能力檢査などそれ／＼ワン公並の嚴かな審査を經へて、いよ／＼合格のワン子嬢へは一兩日中に嬉しい通知がある筈である（寫眞は集まつたワン子嬢）

聖上陛下帝展行幸

皇后陛下と御ども／＼

【東京特電十一日發】美術シーズンに入り各展覽會が相ついで開催され上野の秋を賑はしてゐるが、天皇、皇后兩陛下におかせられては十五日御揃ひで帝展へ行幸啓遊ばされる旨仰出された

六鄕政貞子佛門に歸依

零落の果て

【秋田十一日發】舊秋田本庄藩主子爵六鄕政貞氏(?)は零落の果て象潟の名刹蚶滿寺で得度佛門に歸依する事となつた、子爵の僧で佛弟子となつたのはこれが初めてである

奉天を視察して桑島總領事歸津

天津總領事桑島主計氏はこの程内地より歸津の途、時局の動き調査のため來滿中であつたが十日出帆の長潔通丸にて天津に向つた船中語る

一足違ひで八日出帆の貴州丸に遲れたのでこの船にしたもので別に急いで歸らればならぬ様な事が起きたのではない、奉天には二日居て上京途次の内田總裁にも面會出來一緒に支那兵が滿鐵線を破壞した場所を見て來た、城内外とも奉天は大變靜かで思つたより支那人間の秩序のよいのには驚いた、無論これは我軍の指導ぶりが好いと思ふのだが、とにかく軍隊の力の偉大なのにはくく目の當り見て成程と考へた、たゞ遺憾なのは奉天に支那側人物の居ない事で大抵の要人の姿を見ないので從つて今後は外交的見地から考へると仲々むつかしい事になりやしないかと思ふ、自分は一昨日奉天より歸連、九日は旅順に行つて來た、まあ時局の移りがどうなるか知らないが萬一の事が無いとも測られないから少しでも早く歸任する

柑橘市況の視察に

日本柑橘輸出組合幹部來連

從來滿洲への柑橘類の積出しは供給者それ／＼個々の行動をとつてゐたが、今回新たに一府十縣の柑橘業者集り日本柑橘中華民國輸出組合を作つた、從つて本年度滿洲への輸出に對しこれが打合せ勞々今次の滿洲事變が如何に影響してゐるかを確むべく十一日入港はるびん丸にて同組合理事長吉益圓資氏、同理事防野鐵之助氏及び高橋条一技師の一行三名が來連した、吉益理事長は語る

お互ひの利益を計る意味で、そして今迄はしなくても好い様な競爭をしたり需要者の意向を少しも考へずドシ／＼積出したりしてゐたが、これでは如何にも不合理だと云ふので一府十縣聯合の組合を作り、九月廿一日發會を見た、それに今までは當地十二店舗の問屋に卸してゐたがこのシーズンからはどんな方法で又どんな組織の下で柑橘類を捌けば好いかにつき研究するつもりである、事變もかなり影響するだらうとも考へまづ市況を見て置く事も惡い事ではないので來連したわけだ、大體の方針としては昨年と略同じ位廿三萬梱を捌こうと思つてゐる

小川敬次郎博士けさ來連

日本鐵道土木學の權威工學博士北海道帝大教授小川敬次郎氏は學友根橋滿鐵技術局次長、始め子滿鐵

關東軍と打合せ

北支駐屯軍三浦參謀

北支那駐屯軍參謀三浦忠次郎少佐は前航にて來連、直に赴奉したが關東軍方面との連絡打合せを濟まし十日出帆濟通丸にて歸津した、甲板上語る

本庄閣下に敬意を表すると共に關東軍方面との連絡のため實地を視察勞々來たのだ幸ひ軍部方面の人々も内地より派遣されてゐる實狀調査中の人達とも會ふ事が出來滯奉期日は短かつたが頗る意味のある日を送つて來た時局がらグズ／＼出來ないので急いで歸る、何分あちらは僅かな軍隊で北平天津山海關それに秦皇島などにバラリ撒かれてゐるんだからイザと云ふ時はそれこそ一騎當千を覺悟する必要があるし、その上居留民の保護と云ふ大役を背負つて立つてゐるんだから仲々責任が重い、柴山學良氏顧問とは常に會つてゐるが、何だかこちらに來るらしいれ、天津で會ふかつて、會へないだらう、それに會ふ必要もあるまい、學良氏と柴山顧問との間がどうなるかつてかい、それは自分には解らない何れにしても滿洲北支那を問はず、もつと内地の人達の輿論を喚起し得るやうな大顛株が來てくれなければ困るれ、そして現狀をよく見た上でそれ／＼策を講じてくれなくては駄目だと思ふよ、頗數のみでは何もならないじやないか

盜難にかゝり支那人縊死

十一日午前六時五十分ごろ市内山縣通市場裏に縊死してゐる支那人を發見、大連署に屆出たが、他殺

南支那で道學研究

小柳國大教授

十一日入港天潮丸にて國學院大學教授文學博士小柳司氣太氏が來連したが船中語る

少し研究したいと思つて約五十日前から北京になつたもので主として道學について色々調べたしかるに御承知の樣な事變にひつかゝつたので早目に歸つたでも好いと思つて南京ないそいで一寸調べものをし奉天に行つて歸りは京城によつて歸る積りだ支那人は一時は古い自分の國の好い道德や文學などやたらにけなし新しいもの／＼と追ふ傾向があつたが最近面白い現象として大變自國の文學漢學が好いものだと自覺して來た樣である、事變によつて北平の學者連中の義勇軍の組織示威運動の開始等で物々しい

井上雪子のロマンス

不遇な處女が一躍蒲田の名花と謳はれる迄の情艶史（講談倶樂部十一月號で目下素晴らしい大評判）

東京上空の飛行遊覽

十七日より開始

【東京特電十一日發】東京空輸會社は十七日より東京上空遊覽飛行を開始する事となつた

澤山兵隊さんを出した國家功勞者を表彰

あすの閣議に具體案を附議 勅令をもつて公布

【東京十一日發】一家族で多數の兵役服務者を出した國家功勞者の表彰は來年の軍人勅諭下賜五十周年及び徵兵令發布六十年記念祝典を期して行はれる軍制功勞者表彰と同時にこれを行ふ事となつたが、右具體案は十三日の閣議に附議したうへ勅裁を仰ぎ直に勅令を以て公布される筈である、右勅令は表彰内容には觸れず賞勳局の内規として大體左により實行、これが表彰に該當する功勞者三萬三千百五十六名（昭和四年末調査）にそれ／＼御下賜品を仰ぐ事となり、豫算は約三萬圓である

三名服務者（二萬五千七百十七名）賞勳局總裁の褒狀、四名服務者（五千四百七十三名）木盃一個、五名服務者（千六百六名）木盃一組、六名服務者（二百九十一名）銀盃一個、七名服務者（五十六名）銀盃大一個、八名服務者（十一名）銀盃一組、九名服務者（二名）金盃一個

ひつそり閑とした大連の双十節

淋しかつた各支那街

仲秋節の節期決算も終へてホツト一息つく十月十日の双十節は例年ならば鐵太鼓で大賑はひを呈する小崗子沙河口方面の支那人街も今年は滿洲に祟られた上、奧地における日支事變に氣がれしてか爆竹や鐵太鼓の景氣のよい音も聞けず僅に小崗子の大商店一二軒が日章旗と青天白日旗を交叉してゐるのみで何れも平日の通り開店してゐるので一向双十節らしい氣分がなく今年の双十節は至つても淋しいものであつた、右につき華商公議會では左の如く語つた

勿論事變の影響もあるでせうけれど決してそればかりとは言へない、何しろ御承知の通り銀價は昨年に比しずつと下つてゐるし市面の極度の不振も手傳つてゐると思ひます、現に大連、西崗子兩公議會とも全會員が參集して本日午前十時から祝賀式を擧げた次第です朝鮮人襲來の噂なども言ふまでもなく單なる謠言であり目下海城、長春等奧地支那人が多數來連歸鄕するものがあるのでそれを誤り傳へられたものと思ふ、大連の支那人は決して多くは動いてゐない、これらの謠言を智識階級の支那人は決して信じてゐないのです

哈市双十節案外平穩

【ハルビン十日發】憂慮された本日の双十節は案外平穩裡に經過した、行政長官張景惠氏は各國領事を招待し祝賀式を擧げた

冬營準備にストーヴ

きのふ着荷

冬季を目前にひかへ我が北滿駐留軍隊の士氣いよ／＼旺なるものがあるが長春、吉林、奉天等においては最早冬越えの準備に忙殺されてゐる、十一日入港したはるびん丸で陸軍省陸軍運輸部經由約百五十噸、個數にして六百個の冬營用ストーヴが運ばれて來たが、北滿寒氣にふるふ我將卒には最もよき送りものであらう

東京空輸の水上機顛覆

【東京十一日發】十一日午前九時東京航空輸送會社の國產フオツカー六人乘水上機を金丸飛行士が操縱、岩村機關士ほか試乘客六人を乘せ東京灣上空を約三十分飛行し大森海岸鈴ヶ森沖約三町のところに着水せんと滑走中、浮流物に衝突し機體は顛覆し搭乘者全部海中に投げ出され三名は輕傷を負つた

彌生高女の運動會

盛んに擧行

大連彌生高女の運動會は豫定の通り十一日午前九時より同校々庭に於て開始された、數日來の風も全くおさまり拭つた樣な十月の朝空に陽の光がまぶしい、久しぶりの好天と日曜とに惠まれた保護者たちは、可愛い坊ちやんや孃ちやんを伴つて陸續と會場に集り、紅白のダンダラ幕の内側にしつらへた觀覽席は定刻前既に空席もないまでに埋められた、定刻代の合唱と國旗掲揚式に會は開かれ、全校六百の生徒たちの準備運動にトップを切り五十米、百米、二人三脚、マスゲームなどいづれも平素の練習の功が偲ばれる、見事な出來榮でかくて午前中の運動競技を終り、晝食小憩の後第二部に移りバスケット、バレー、班別競技とプログラムは順々に進み彌生會の彌生舞踊では、職員競爭リレーには全生しかも輕快な舞踊に[illegible]ます、[illegible]の應援すさまじく、かくて午後四時過ぎ盛會裡に會を閉じた、當日來賓席には森本地方法院長をはじめ大連市内各中等學校長職員など多數列席し、皆熱心に各運動を觀覽した

墻壁に飛込んだ儘銃を構へて四日間

不寢警戒の苦心を語る藤代巡查

新民府にて　藤井特派員發

北寧鐵路沿線で邦人居住民を有する前哨地點は新民府である、同地には目下壯年男子（四十八名）婦女子を合して總數七十六名の邦人居住民がゐるが、日本領事分館があり又分館建物と向ひ合つて日本電話局がある、これは日露戰爭當時設けられたものがそのまゝ現存し奉天間に我が電話線を有してゐる、事變直後の十九日には敗殘兵の爲めに電話線を切斷され奉天との聯絡は絶たれ、ために二十日午前に至つて五名の敗殘兵は十九日續々新民府に流れて來た、秩序を失ひ殺氣立つた[illegible]懸子を算ふ彼等敗兵の群に取り圍まれた七十餘名の邦人は當時全く生きた心地はなかつた、領事分館といつても土屋領事たゞ一人と館付警官が二人きりの名だけのもの、到底居住民を保護どころか全く保護から棄られた邦人七十餘名であつた

警官が奉天より救援のため派遣されたが一臺のモーターカーに乘じて敗兵敗走の中を突ッ切つて乘込んだ彼等は又無鐵砲とも云ふべきものであつた、當時を回想して藤代巡查は語る

鐵道線路に沿つて敗走兵はひきも切らずその中を突つ走るんですが敗走兵の大部隊にぶつつかると我々はカーを線路外にひつくり返して草原に隱れて彼等の通過を見過して又突つ走るんです、途中一度つひに約千五百の大部隊通過の際見つけられたと思つた時はもう駄目だと觀念しました、幸ひ彼等は氣がついたのかつかないのか其のまゝ行つて了ひました、それから夢中でカーを走らして新民府へ辿りつきましたが領事分館に來てみれば邦人全部墻壁を築いた中に避難してゐました我々の姿をみるなり早く「飛び込め」と云ふのでいきなり墻壁の中に飛び入り銃を構へて伏せしたまゝ四日間夜も寢ず警戒しましたが全く生きた氣持ちはしませんでした

廿二日はじめて我が飛行機が新民府上空に飛來し通信筒を落して行つた時は一同は機翼の赤い日の丸をみて抱き合つて泣いたものだ、最近は居住民も漸くおちついたものゝ、元來同地は人口三萬餘を有する新民縣内唯一の大都會であるから馬賊の襲來には始終悩まされてゐる、だから夕方になれば皆から同地方の支那住民は銃を持つて屋根の上にのぼり見張りをし少しでも怪しい影を見れば銃を射つのだ、毎夜きまつたやうに數十發の銃聲が降くが日支事變以後この銃聲が頗る氣になり敗殘兵襲來があつても見分けがつかぬといふので土屋領事より王公安局長宛交渉し最近はこの豫防射擊を禁じ、若し理由なく銃を射つものは大洋二十圓の罰金に處すと公安局長より布告を出したのでこの頃は市民名物の夕飯の爆竹代りの如き銃聲も聞えない

兵も交つて彼等は極端に排日的感情を有つてゐるから何時如何なる襲擊を受けるとも限らず突發的事件に對して邦人は戰々兢々たるものである

安樂椅子

日支衝突事變以來特に神經過敏になつた大連署の寺尾高等主任は毎日軍部並に滿鐵各警察署から集つて來る情報や部下特務達の提出する報告書を熱心に熟讀し細心の注意を拂ひながらペタリ／＼とはんこを捺してゐたが最近急にそのはんこのスタンプインキが薄くなつたので

御職掌柄で念に思ひ早速會計係に「何うもこの頃のインキは薄いが水を割つてゐるのではないか」と抗議を申込んだところ、苦笑の會計先生「アレは買つた店が水を割つたんだらう」と應酬したので寺尾主任呆れて自席に歸り「店が水を割つて賣るナンテソンナ馬鹿な事はない」といろ／＼係員達と討議した結果、會計係が經費節減のため一寸機轉をきかしたのだらうと云ふ事に一致

……

流石の寺尾主任「經費節減も好いがこれまで節約させなければならないとはナンボ辛いか」

滿日各地版

いと嚴肅に我將卒の追悼會
撫順表忠碑前で執行
佛教聯合會主催で

【撫順】今回の滿洲事變の痛ましき犠牲者となつた六十餘名の將卒の追悼會は撫順佛教聯合會主催のもとに行はれた、この日參列の主なるものは

川上守備隊長、村上、角田兩中尉以下守備隊側を始め久保次長宮澤庶務課長外各課所長、寺田署長、田中實業協會長、寺西地委議長、福永局長、寺田撫中、植村高女、鈴木補習、米澤新屯各學校長、土生分會長以下在鄉軍人等等外三百四十八名

まづ式は各宗僧侶十數名の讀經に始まり、次で以上守備隊側、炭鑛長、田中實協長、寺田署長の弔詞

各代表

の燒香禮拜ありて十時四十分式を閉づ、因に川上守備隊長の弔詞次の如し

弔詞

昭和六年十月十日佛教聯合會主催の下に追悼會を營むに當り守備隊長川上精一熱涙を捧げて將卒を代表し戰友六十有餘の英靈に告ぐ、夫れ民國の我國に對するや傲慢無禮既に年久しく正義人道を無視し或は破約を敢てし或は同胞婦女を凌辱する等視るに忍びざるもの日に月に多く、更に武威を顧みて我を脅威し横暴至らざるなし、南滿鐵道亦彼の跳梁する所とならんとせり吾人その任に在るもの極寒暑貴夜警戒以て事無きを希ひて止まざりき、然るに何ぞ圖らん九月十八日夜北大營の官兵は堂々憚る處なく我鐵路を破壞し更に帝國軍隊に向つて攻撃し來る、而も北大營の

敵兵は

その數に於て一萬二千を算し兵備最も克く整ひ張作霖並に其子學良の金湯の地となし虎を以て中原に覇を唱へ萬人等しく認めて支那最鋭の軍隊となしたる所なり、又長春南嶺の部隊は歩砲兵約一千にして吉林張作相の精鋭を誇れる軍隊なり、奉天守備隊は僅に六百有餘に過ぎずと雖も事茲に至りては何ぞ躊躇するを得べけんや只管神佛の加護と忠勇無二なる諸卒に依頼して彼驕匪支那軍を撃滅せんことを期し斷然起つて北大營を攻撃せり、其意氣何ぞ壯烈なる、數百の堅固なる兵舍めぐらすに深壕、堤、鐵條網を以てし加ふるに咫尺をも辨ぜざる暗夜なり我軍の苦戰實に言語に絶せり、或は窓を越へて敵中に躍り込み或は扉を蹴破つて

突入し

爆殺射殺刺殺上下相離れ戰友相失ふも更に臆する事なく縱横無盡に驅け廻り敵血を啜つて渇を醫し敵砲を奪つて門を破り東天正に白まんとする時戰最も酣なり、此の報一度び傳はるや各地の精鋭なる帝國軍隊は附近支那軍閥を膺懲せんとして決然起ちたり、殊に長春部隊は精鋭吉林部隊の據れる南嶺を攻撃せり、敵亦頑強に交戰力め死屍累々凄慘を極めしも遂に我軍の占領する處となれり共に寡兵以て衆敵を殲滅す、而も北大營戰鬪は東西古今戰ひ多しと雖も僅に六百餘名を以つて一萬二千の敵を屠りし例未だ曾て有らず只多くの戰友を喪ひたるは惜みても猶足らざる處なり、然れども人生誰か死なからん、況んや軍人たるもの戰場に斃れて國難を救ふ本懷と謂ふべきなり、今や戰將に熄まんとするも

滿蒙の

天地は更に幾多の波瀾を蘊藏す、希くは卿等各勇士よ七度生れ來て以て國家を保護せんことを茲に守備隊長は熱涙以て合掌再拜此詞を亡き戰友の英靈に捧ぐ希くば哭ぜよ

昭和六年十月十日
南滿洲撫順守備隊長川上精一

遼陽の戰死者追悼會嚴か
白塔公園で執行さる
◇—參列者千數百名に達す

【遼陽】滿洲事變の戰死者追悼會は既報の如く十日午後二時から遼陽白塔公園グラウンドに於て神佛兩式で執行、定刻一同着席するや神式祭典から始まり次で佛式で閣屆委員長、山崎領事細矢在鄉軍人分會長、生田地方委員議長の弔辭多門第二師團長、天野旅團長、濱本第十六聯隊長、上田守備第六大隊長、塚本關東長官、内田滿鐵總裁、中谷警務局長の弔電朗讀あり各代表者玉串奉獻、燒香ありて午後三時十五分閉式、當日は内田滿鐵總裁、塚本長官、多門第二師團長、天野旅團長を初め軍部各町内滿鐵地方各種團體からの供進せる花環、生花三十餘對の多きに達し參列者もまた千數百人の多數であつた

祭典委員長弔辭

滿洲事變に戰歿せられたる皇軍將士の英靈を迎へ追悼會を行ふに當り謹みて忠魂毅魄に告く回顧すれば輓近滿蒙の天地は危機を孕み急を告け遂に這次の事變の勃發を見るに至れる極東の平和を希ふ我帝國の痛恨措く能はざる處なり

此秋に當り忠勇なる諸士は我國權の確保と東洋平和維持の爲め更に正義人道擁護の上より奮勵鬪遂に殉難せられる悲壯寔に諸士の護國の神と化して正義の楯となり永く極東の禍根を絶つものなることを信す

遼陽における戰死者追悼會

滿鐵沿線破壞の陰謀文書を發見
撫順製紙會社に於て

【撫順】今回の日支事變を捲き起した支那側の計劃的陰謀を雄辯に語る重要書類が十日端しなくも撫順に於て發見された、右は撫順製紙株式會社が時局突發直前奉天講武學堂より製紙の原料として屑紙五千斤を買入れた事を聞知したる憲兵隊が同社倉庫に急行綿密調査の結果、果然彼の滿鐵線破壞の計劃的企てであつた事を確證する文書竊しその他重要文書紙片等及び極端なる排日文書紙片が發見されたのである

救濟の支那窮民
實に廿萬九千八百餘名

【奉天】時局以來省城内外は食ふに食ふものなく寢るに寢る所なく生活苦のドン底にある支那人に對し奉天市政公所では紅卍字會、基督教聯盟、龍華養賑、日華佛教聯合、紅十字會の各公共團體と共に鋭意之が救濟に努力してゐたが、去月廿六日から本月十日までに救濟した貧民の數は實に廿萬九千八百廿人に達し一日平均一萬四千人の多數に上つてゐる尚救濟者の大部分は兵工廠三家子等であると

旅順出發
軍隊慰問へ
マラソンの土倉節夫君

【旅順】大連廣島縣人會後援の下に單身マラソンにて出動軍隊慰問を行ふ土倉節夫君は十日午前中各方面を歴訪のうへ、同日午前十時三十分關東軍司令部前をスタートして部員及び關東廳員多數の盛大なる拍手見送り裡に出發したが、

【寫眞はスタート前の土倉君】

旅順第一小學校
創立廿五周年記念式
頗る盛大に擧行さる

【旅順】旅順第一小學校創立二十五周年記念式は十日午前十時から同校講堂に於て擧行來賓には御影池學務課長、米内山民政署長、永山市長、大塚在鄉軍人分會長、歴代の校長倉島、越智、高橋の三氏を始め舊訓導、事務員、市會議員保護者、同窓生等數十名にて一同敬禮、君ケ代齊唱、勅語捧讀の後中川校長の式辭、民政署長告辭あり、次で永山市長、倉島初代校長保護者會總代として大塚乾一氏祝辭を朗讀、校歌を合唱閉式の後別室に於て茶菓を喫したが、十一日午前十時からは引續き同窓會を開催、十年以上勤續の現訓導に對し記念品贈呈を行つた、因に今回の二十五周年記念に際し保護者會よりピアノ一臺、同窓會より教材用家庭ベビー映畫機一臺を寄贈した

作業順調
金塊引揚げ

【旅順】旅順港外作業中のペ號金塊引揚は爾來極力準備作業を續行中、昨今は目的の箇所約八分通りの剝土を見たので他の鐵板その他の引揚を中止してゐるが、目下潮流の關係上正午頃から午後七時頃まで作業してゐる、海中の溫度も五十五六度を示し至つて順調であると

四十九日振りに小林氏歸る
十日營口にて引渡式

【營口】營口占領翌日即ち九月二十日岩田大隊長は營口縣知事楊晋源を牛莊領事館内大隊本部に召致し左記宣言を爲した

去る八月二十二日馬賊の爲に奪はれたる海城在留日本人小林善人の搜索奪回に就て日本官憲の行動を貴下が甚だしく妨害して事件の調査を困難ならしめたる行き掛りについて本職は能く之を承知す、卽ち小林善人を今日迄奪還し得ざりし主要なる原因は貴下の妨害の爲にして本件に關する貴下の責任は誠に重大なりと云ふべし、就ては貴下は十月十日午後十二時迄に小林を馬賊より奪回し本職に引渡すべし若し之に應ぜざる時或は指定の期日に遲れたる時は本職は遺憾ながら貴下に對し斷乎たる處置を執る決心なり

と述べ終るや楊知事は顏色蒼白として大隊長に對し左記誓約書を認め提出せり

小林事件に關する大隊長の要求は總て之を承知せり充分の誠意を以て小林の奪回に勉め誓て約束の期日迄に要求を貫徹すべし若し此の誓約に違ひたる時は如何なる罪に處せらるゝも何等異議なし

爾後數回楊知事は大隊本部に來り支那一流の外交手段を發揮して或は時日の遷延を乞ひ、或は任務の達成不可能に陥るやも知れざる等の泣き言を述べたるに對し大隊長は斷乎として之を排撃し一日たりとも延期を許さずといふので楊縣知事も大隊長の牢固たる決心の既に動かすべからざるを知り止むを得ず眞劍に小林氏等奪回に勉めたる如く、十月九日午後六時頃同知事より大隊長に對し只今小林を奪回し無事縣政府に連れ歸つた、小林は元氣にして身心に異狀なしとの電話報告ありよつて十月十日午前十時より營口大隊本部に於て

二、岩田大隊長の訓辭
三、小林の謝辭

斯くして四十九日振に初めて小林は日本官憲の手に引渡され午後一時三十分營口發令兄と共に海城に歸還された因に引渡式終了後記念撮影を爲した今回の事件が斯くも順調に運ばれたのは岩田大隊長の固き決意によるもので同時に猪苗代大石橋署長が種々便宜と援助を與へた功績も見逃す事が出來ない

早や奉天に初氷
例年よりも一日早い

【奉天】兩三日來奉天における氣溫頓に低下し朝夕は攝氏の二度を示し既に内地の冬季の如き氣溫であるが十日朝は更に氣溫低下し初氷を見た、例年に比し一日早く氣溫は零下五度に下つた

地方維持會近く解散

【奉天】今回の時局で發會式を擧げた地方維持會は瀋陽縣廳復活と共に公安局が設置され自警の任務終了のためこれを十日より解散することになつたと

省城數ケ所に施療所

【奉天】奉天市政公所では今回の事變で貧民及び病患者の續出に鑑み奉天省城數ケ所に施療所を設置して醫大赤十字その他各病院と協力して施療班を組織し一般の施療に當る計畫を樹てゝゐるが近く實施する運びにならうと

鄉軍北大營の戰跡見學

【奉天】奉天在鄉軍人會では十日午後零時半から北大營の戰跡見學をなしたが撫順の在鄉軍人も參加し總員六百餘名の多數であつた

米調査員の滿洲再派遣
誤電と入電

【奉天】陸軍省より軍司令部參謀長宛十日左の如き入電があつた

米國が滿洲事件調査のため本國方面から再び調査員を派遣するといふ事を日本内地新聞、外字新聞殊に支那新聞に掲載されてあるがそれは根も葉もない謠言で、實は先般來調査員が事件の推移を觀てゐるといふことを誤傳したもので日本内地における米國官民の空氣は依然として日本に有利である

旅順高女生淨化作業
日夜警察官の活動に感激

【旅順】旅順高等女學校寄宿舍生徒の多くは奥地沿線の者多くそれが爲め日夜我が警察官に對する長破感謝の念が甚だしく十日正午から他の生徒の應援を得て千歳町警察官殉職招魂碑に赴き淨化作業を行ひ禮拜、更に舍生一同は奥地勤務の警察官に對し慰問袋を調製これを送附した

馬賊三勝の一團解散

【遼陽】今春以來遼陽縣内外に跳梁良民を苦め官兵を惱ましたる馬賊頭目三勝は數日前海城縣藍堡に於て部下八十餘名を解散し自身は黑山縣方面に隱れたとの情報があつたと

遼陽の支那側要人家族避難

【遼陽】通遼公安局長は家族を擧げて一兩日前遼陽城内に避難し來り城内地方法院檢察官も家族を九[illegible]

奉天
漢字紙休刊
双十節で三日間

奉天中國、交通兩銀行及び[illegible]は九、十、十一日の三日間で休刊した

旅順
旅順蟄居の張宗昌將軍

旅順蟄居中の張宗昌將軍は[illegible]汁視の的となつてゐるが[illegible]く恐れがあるので一切面會[illegible]し十日國慶記念日に際しては[illegible]團に於て舊部下及び知己を[illegible]觀會を催す筈なりしも中止[illegible]尚同日は早朝より大連へ赴[illegible]歸旅した

沿線往來

▲大谷旅順要港司令官　十[illegible]
▲木村滿鐵理事　九日夜[illegible]
▲首藤理事　十日來奉ヤマトホテル
▲ガズン氏（英米煙公司支[illegible]）
▲佐藤前代議士　九日大連より奉天へ

御めでた

▲乃木町二　大西寛心氏二[illegible]　男二十六日出生

市中の噂

黄金臺

曙の鐘 (76)

倉田潮 作
河野想多 畫